	-		変 更 設 計 金 額
工 事	金 .	円	元 設 計 金 額

〈理由〉

鳥取県鳥取県土整備事務所施工、大井手川河川改修工事に伴う水管橋上部工事

〈 概 要 〉

【新設送水管】

ステンレス鋼鋼管 SUS304 400A L=28.9m(内、伸縮可とう管L=4.7m、支間長L=16.4m)

〈 備 考 〉

仕様歩掛

経済産業省工業用水道工事設計標準歩掛表 一般社団法人 日本工業用水協会(以下、工水と略す)

水道事業実務必携 全国簡易水道協議会(以下、必携と略す)

土木工事標積算基準書 鳥取県県土整備部

			1. 1
	積質	情報表	
項 目	内 容	項目	内 容
積算区分	実施		
変更回数	当初		
積算基準パターン	平成27年度経済産業省基準(消費税10%)		
設計年度	令和7年度		
単価適用地区	鳥取市		
単価適用日付	令和7年10月15日(09)		
共通仮設費補正	1.3 : 一般交通影響あり①		
週休2日補正	1 :月単位の週休2日		
(週休2日)共通仮設費係数	1.01		
(週休2日)現場管理費係数	1.02		
(週休2日)機械経費係数	0		
(週休2日) 労務単価係数	1.02		
現場環境改善費地域			
現場管理費率補正	1.1 : 一般交通影響あり①		
熱中症対策補正	0%		
契約保証費率	0.04% : 金銭的保証		
豪雪補正	補正有		

本 工 事 内 訳 表

費	工 種	種 別	細別	規	格	単位	数 量	単価	金額	摘 要
具 -	1 上 1里	1里 刀寸		///[ТН	+ 177	-	平 圃	业 积	IM X
		工場製作原価				式	1			第1号内訳書
		架設工事原価				式	1			第2号内訳書
							<u> </u>			
	工事原価									
	工事がЩ					式	1			工場製作原価+架設工事原価
	一般管理費等	È				式	1			
										[必携P.31] 一般管理費等率算定式
		一般管理費				_1>				[-4.97802×Log(工事原価)+56.92101]
						式	1			
		契約保証費				式	1			[工事原価×0.04%]
	工事価格					式	1			工事原価+一般管理費等
						14	1			五子/八岡 /以日七英 ()
		冰事税扣业格								
		消費税相当額				式	1			
	本工事費					式	1			
							*			

笠1	号の	

工場製作原価 1式当たり内訳書

第1号の1 												
名 称	規格	単 位	数量	単 価	金額	雑	摘要					
直接工事費												
1)材料費	小 計											
原材費		式	1				第3号内訳書					
購入品費		式	1				第4号内訳書					
副資材費		式	1				[原材費×10.0%:工水P.25]					
2)直接経費		式	1				第5号内訳書					
3)製作費		式	1				第6号内訳書					
4)工場塗装費		式	1				第7号内訳書					
	直接工事費 合 計						(1)+2)+3)+4)					
間接工事費												

第1号の2

工場製作原価 1式当たり内訳書

名 称	規格	単 位	数量	単 価	金額	雑	摘要
5)間接労務費		-1 -	1				 [制/佐弗/古
		式	1				[製作費(直接労務)×35.2%:工水P.25]
純工事費	(直接工事費+間接労務費)						1)+2)+3)+4)+5)
6)工場管理費							5//6
O/1/2/16/15		式	1				[(純工事費-材料費)×28.1%:工水P.25]
	明校子本曲						
	間接工事費 合計						5)+6)
工場製作原価							
上物教仆房侧		式	1				[直接工事費+間接工事費]

第2号の1

架設工事原価 1式当たり内訳書

3/2/J V) 1							
名 称	規 格	単 位	数量	単 価	金額	雑	摘要
直接工事費							
							[(38.56×距離+9263)×1.867t]
1)輸送費							
1/冊心頁	鳥取市(現場)~岐阜県可児市339km	台	1				[工水P.41](千円未満切捨)
2)荷卸費		式	1				第8号内訳書
3)架設費		式	1				第9号内訳書
		14	1				Nic () Lillivia
4)現場塗装費							
4) 奶奶蜜菜賃		式	1				第10号内訳書

	直接工事費 合計						(1)+2)+3)+4)
 共通仮設費	小 計						
	/1, !!						[//*/*/*/*/*/*/*/*/*/*/*/*/*/*/*/*/*/*/
エンス /ごうしま							[(直接工事費)×13.32%×1.3×1.01]
共通仮設費	率計算式	式	1				[必携P.11](千円未満切捨)
技術管理費		式	1				
			-				
純工事費計							
1.07 4 M M		式	1	<u> </u>			直接工事費+共通仮設費

第2号の2

架設工 1式当たり内訳書

名 称		単 位	数量	単 価	金額	雑	摘 要
√П	/9L 1H	十匹		十	707 113		
							[純工事費×38.19%×1.10×1.02]
現場管理費		式	1				[必携P.28](千円未満切捨)
2設工事原価							
		式	1				純工事費計+現場管理費

第3号の1				原材	費 1式当	iたり	内部	書	SUS304 400A					
名	称	規	格	単位	数 量	量量	i	価	金	額	雑	摘	要	
材料		小計		式	1									
鋼管		SUS304-114. 3 $\phi \times 4$ t	t	kg	2									
鋼管		SUS304-406. 4 $\phi \times 12$	2.7t	kg	174									
鋼管		SUS304-406. 4 ϕ ×8t	t	kg	1, 247									
鋼板		SUS304-22t		kg	189									
鋼板		SUS304-6t		kg	45									
鋼板		SUS304-12t		kg	167									
鋼板		SUS304-16t		kg	13									
鋼板		SUS304-19t		kg	24									
鋼製フランミ	ッ	SUS304-100A (F12)		枚	1									

0732200068-0	0) 3 地区 鳥	取市							P. 11
第3号の2				原材	費 1式当た	こり内訳書			SUS304 400A
名	称	規	格	単位	数量	単 価	金額	雑	摘要
計				式	1				

第4号の1	購	購入品費 1式当たり内訳書									
名称	規格	単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘 要	
材料	小計	式		1							
アンカーボルト	D25 (M-24) ×400L	本		2							
絶縁支承材	テフロン系	枚		4							
落橋防止装置	180kN ケーブル	組		2							
アンカーボルト	D19 (M16) × 260L N1 • N3 • PW (SUS304-SD345)	本		16							
CR緩衝材	t50×100×400	枚		2							
取付ボルト	M10×65L N1-2PW(SUS304)	組		6							
材料	小計	式		1							
伸縮管	400A×650L ベローズ	基		1							
不凍急排空気弁	φ 50	基		1							

名 称 規 格 単位 数 量 単 価 金 額 雑 摘 要	SUS304 400A						î	习訳書	にり ト	八当	質 Ⅰ:	\ <u></u>	購	号の2						
SUS 歩行防止柵(全開) 組 2	 要	j	摘	雑	額	È	金	価	単	量	数	位	格	規	称	I	名			
SUS 両B曲管 本 1 1 1 1 1 1 1 1 1	 										2	組		400A	上柵(全開)	歩行防止	SUS			
SUS 両B曲管 本 1 SUS 両B曲管 400A×1750L×67.8°×800L(スティフナー付) 本 1	 										1	本	00L	400A×500L×45°×500		両B曲管	SUS			
SUS 両B曲管	 										1	本	000L(スティフナー付)	400A×700L×57. 2°×100		両B曲管	SUS			
$400\text{A} \times 436\text{L} \times 30^{\circ} \times 1242\text{L}$											1	本	800L (スティフナー付)	400A×1750L×67.8°×80		両B曲管	SUS			
SUS 両B曲管 本 1 1											1	本	242L	400A×436L×30°×124		両B曲管	SUS			
φ 400 GX形 H=300mm U×S タイロット・付 基 2											2	基	U×S タイロット・付	φ 400 GX形 H=300mm U		可とう管	絶縁			
特注グレーチング 2100×1750×150 2枚割 嵩上げ 組 1											1	組	対割 嵩上げ	2100×1750×150 2枚管	ング	グレーチ	特注			
合 計 式 1											1	式					合 計			

第5号

直接経費 1式当たり内訳書

<i>→</i>	<i>*1</i> :	t.m	- 	22.11	ж/. =))/, /		ميسلو	±1/.	
名	称	規	格	単位	数量	単 価	金	額	雑	摘要
		(内業)								
技術員				人	16. 6					製図加工図面作製費,工水月単位
検査費		工場検査		式	1					工水 製作費×0.01
快宜賃		上場快宜		IV.	1					工小
橋梁塗装工				人	0.7				4	荷造り梱包費, 工水月単位
INAL					···				+ -	四亿 / 旧世界) 土/1/7/ 干压
材料費				%	20					荷造り梱包費,工水
合 計				式	1					

第6号

製作費 1式当たり内訳書

弗0万 									
名	称	規	格	単位	数量	単 価	金額	雑	摘 要
制化十一括河	,)			一米	25 4				CIIC 4004 % / ¬ 1/- 1. T →
製作工(橋梁	:)			工数	35. 4				SUS 400A パイプビーム,工水
製作工(橋梁	2)			工数	8.5				リングサポート等, 工水
製作工(橋梁	·)			工数	13. 4				落橋防止装置, 工水
	:/			上奴	10.4				俗個例业衣但,上小
合 計				式	1				

(0102200000	0/ 0 PE ///	7-1/2117												1. 1	. •		
第7号	_{7号} 工場塗装費 1式当たり内訳書												外面塗装費				
名	 称		∃	 格	単位	米ケ	量	単	 価	金	額	雑	<u>-</u>	工水 <u></u> 摘	 要		
——————————————————————————————————————	个小	乃	군	恰	平114	剱		<u></u>	1Щ	並	祖	米田		捕	安		
製品ブラスト	、工				m2		0.64						第1号単価表, 注	由脂類	の除去作業領	含 工水	
 	⊬ 						0.04						然 る日	- 1.			
工場外面塗装	=				m2		0.64						第2号単価表,	上水			
合 計					式		1										

第8号

荷卸費 1式当たり内訳書

 名	称		 格	単位	数量	単価	金額	雑	
	.141.	///	114	7111	- 外 - 重	т ш	71Z. HA	小 庇	1M X
長り、これで	4- 				0.5				
橋りょう特別	木 上			人	0.5			月単位	
* ~ / . * =					0.5				
普通作業員				人	0.5			月単位	
〈賃〉トラック:	クレーン(油圧伸	4.9t吊 オペレータ [/]	计		0.05			4.0.	
イング型) 				日	0. 25			4.9t吊	<u> </u>
^ =1				-1>					
合 計				式	1				

第9号の1	架設費	1式当たり内訳書

男9万 の1												400A
名	称	規	格	〕	単位	数量	単	価	金	額	雑	摘要
		小計			式	1						
架設工(パ	ペイプビーム)	SUS304 400A 1.86	57t	夜間	日	2. 3						工水
711121	,			<i>p</i> =1. 4								
組立工		SUS304 400A 1.86	57t		日	1. 4						工水
組立用架7	台工				式	1						
ステンレス 鋼管電)	意気溶接(水管橋	直流溶接 SUS400A×8.0t、14口以下、	独立水管橋	筐	当所	4						酸洗工含 歩掛:必携、補正:工水
ステンレス 鋼管電)	意気溶接(その他	直流溶接 SUS400A×12.7t、2	水管橋部外	筐		1						酸洗工含 歩掛:必携、補正:工水
ステンレス 鋼管電)	意気溶接(その他	直流溶接 SUS400A×8.0t、水	管橋部外	É	当所	4						酸洗工含 歩掛:必携、補正:工水
X線検査(z	水管橋)	 呼び径1,000mm未満	i i		枚	4						
X線検査(>	その他)	 呼び径1,000mm未満	<u>;</u>		枚	5						
鋼管布設	工(機械力)	溶接管 吊込み据付400mm トラッククレーン[油圧	溶接口数:10 :式] 4.9t吊	口以下	m	7.8						

第9号の2	架設費 1式当たり内訳書

第3 5002												400A
名	称	規	格	単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘 要
												N. 1/6
空気弁設置	重工	人力施工 呼び径50r	nm	基	1							必携
伸縮管設置	置工	呼び径400A		組	1							第3号単価表, 工水
伸縮可とう	管設置(鋳鉄製											
)		呼び径400mm以下 接合	S形式U×S	基	2							必携
機器等据付	寸工(第7類)	安全設備、架台類 質量0.024t アルミ製		台	2							第4号単価表,歩行防止柵据付工 必携
落橋防止場	表置取付工			組	2							第5号単価表,工水
橋台工		小計		式	1							
111111111111111111111111111111111111111		3 H1										
		無筋・鉄筋構造物 2	24-12-25 (20) BB									
コンクリー	- ト	無筋・鉄筋構造物 2	『車打設 ` ´	m3	3							
型枠		一般型枠 鉄筋・無筋構造物		m2	18							
<u> </u>		多/11/1 W/11/1 ILL / 10/1		1112	10							
		SD345 D13										
鉄筋				t	0.	. 05					1	
鉄筋		SD345 D16~D25		t	_	. 05						
少大 月刀				l	<u> </u>	. บอ						

第9号の3	架設費 1式当たり内訳書
タランク マノン	

第 9万 <i>(</i>)3												4007	A		
名	称	規	格	単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘		要	
機械式鉄筋定	着工	D13 0 <l≦1m< td=""><td></td><td>箇所</td><td>Ĝ</td><td>)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></l≦1m<>		箇所	Ĝ)									
特注グレーチ	ング	2100×1750×150 2	枚割 嵩上げ	組	1	L									
取付工		小計		式	1	L									
平ブロック張		ブロックの質量150 平ブロック控120mm_)kg/個未満 170kg/m2以上	m2	34	l. 7									
基礎材_情報は	ボックス	砕石の厚さ17.5cm RC-40	を超え20.0cm以下	m2	34	ł. 7									
目地板		1工事当り使用量30 瀝青繊維質目地板t)m2未満 =10mm	m2	(). 6									
コンクリート		無筋・鉄筋構造物コンクリートポンプ	18-8-40BB プ車打設	m3	3	3. 5									
型枠		一般型枠 鉄筋・無筋構造物		m2	28	3. 4									
コンクリート		無筋・鉄筋構造物コンクリートポンプ	18-8-40BB プ車打設	m3	C). 2									
型枠		一般型枠 鉄筋・無筋構造物		m2	G	3. 3									

第9号の4		架設	費 1式当た	こり内	訳書				SUS304 400A
名称	規格	単位	数量	単	価	金	額	雑	摘 要
目地板	1工事当り使用量30m2未満 瀝青繊維質目地板t=10mm	m2	3. 1						
コンクリート	無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB コンクリートポンプ車打設	m3	0.5						
型枠	一般型枠 鉄筋・無筋構造物	m2	7.2						
目地板	1工事当り使用量30m2未満 瀝青繊維質目地板t=10mm	m2	0.4						
コンクリート	無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB コンクリートポンプ車打設	m3	5. 7						
コンクリート	無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB コンクリートポンプ車打設	m3	4.3						
型枠	一般型枠 鉄筋・無筋構造物	m2	4. 5						
基礎材_情報ボックス	砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下 RC-40	m2	3.9						
目地板	1工事当り使用量30m2未満 瀝青繊維質目地板t=10mm	m2	5. 7						
間知ブロック張	150kg/個未満控350mm滑面タイプ_10.0個/m2 RC-40 18-8-40BB	2 m2	12. 1						

第9号の5				架設	費 13	式当た	り内	訳書				S 4	SUS304 100A	
名	称	規	格	単位	数	量	単	価	金	額	雑		摘	要
裏込砕石		RC-40		m3		3. 2								
現場打天端コ	ンクリート	18-8-40BB 一般養生		m3		0.6								
型枠		一般型枠 鉄筋・無筋構造物		m2		1. 6								
コンクリート		無筋・鉄筋構造物 1 コンクリートポンプ	8-8-40BB 車打設	m3		0.9								
型枠		一般型枠 鉄筋・無筋構造物		m2		3. 1								
土工		小計		式		1								
歩車道境界ブ	ロック撤去	再利用		m	1	10								
横断・転落防山 ーム式・パネ	上柵撤去 ビ マル式	アンカーボルト固定	用	m	1	12						月単位		
横断・転落防』	上柵部材撤去 ペネル	部材撤去		m	1	12						月単位		
交通整理員(交	通誘導員A)	昼間勤務		人・日	4	15								

第9号の6				架	設了	費 1式	当た	り内	訳書				SUS304 400A	
名	称	規	格	単	位	数	量	単	価	金	額	雑	摘 要	
交通整理員(交通	誘導員A)	夜間勤務		<u></u>	• _日	2								
交通整理員(交通	誘導員B)	昼間勤務		人	· 目	45								
交通整理員(交通	誘導員B)	夜間勤務			· 日	2								
合 計				Ē	式	1								

第10号				現場塗	装費	1式当	たり) 内訳	書
H	14	1 =	+42	光子	水仁	= .	77.4	/π*	

名 称 規 格 単位 数 量 単価 金 額 雑 摘 要 布設 小計 式 1	
 布 設	
作 設	
W 92	
執収縮系タイプ	
熱収縮系タイプ 外面塗装(ジョイントコート) 400A 箇所 5 必携	
合 計 式 1	

鋼材重量及び塗装面積集計表

鳥取市加路	田橋-400A、	一固PB
-------	----------	------

名 称		形状・寸	法		数量	単位	単位重量(kg)	重 量(kg)	内面塗装面積 (㎡)	外面塗装面積 (㎡)	摘要
鋼管	SUS304 —	406.4 φ×	8.0 t		15.700	m	79.40	1246.58			通水管
II	SUS304 —	114.3 φ×	4.0 t		0.200	11	10.99	2.19			取出
II	SUS304 —	406.4 φ×	12.7 t		1.400	11	124.56	174.38		0.639	
鋼板	SUS304 —	6 t ×	526 ×	669	2.0	枚	16.74	33.48			リンク゛サホ゜ート 縦リフ゛
11	SUS304 —	6 t ×	100 ×	1648	1.0	11	7.84	7.84			リンク゛サホ゜ート サイト゛リフ゛
IJ	SUS304 —	6 t ×	60 ×	88	5.0	"	0.25	1.25			リンク゛サホ゜ート リフ゛
IJ	SUS304 —	6 t ×	245 ×	88	2.0	IJ	1.02	2.04			リンク゛サホ゜ート リフ゛
IJ	SUS304 —	6 t ×	230 ×	80	1.0	"	0.87	0.87			リングサポート 底板
IJ	SUS304 —	22 t ×	400 ×	250	2.0	"	17.44	34.88			リンク゛サポ゜ート スライト゛フ゜レート
IJ	SUS304 —	22 t ×	450 ×	250	2.0	"	19.62	39.24			リンク [・] サポ [°] ート ヘ [・] ースフ [°] レート
IJ	SUS304 —	12 t ×	45 ×	100	2.0	IJ	0.42	0.84			リンク [*] サホ [°] ート ストッハ [°] ー
IJ	SUS304 —	12 t ×	45 ×	100	2.0	IJ	0.42	0.84			リンク [*] サホ [°] ート ストッハ [°] ー
IJ	SUS304 —	12 t ×	260 ×	387	4.0	IJ	9.57	38.28			橋軸方向落橋防止(上部工)
"	SUS304 —	16 t ×	294 ×	174	2.0	11	6.49	12.98			橋軸方向落橋防止(上部工)
11	SUS304 —	12 t ×	122 ×	174	4.0	IJ	2.02	8.08			橋軸方向落橋防止(上部工)
IJ	SUS304 —	22 t ×	380 ×	440	2.0	IJ	29.16	58.32			橋軸方向落橋防止(下部工)
IJ	SUS304 -	12 t ×	378 ×	400	4.0	IJ	14.38	57.52			橋軸方向落橋防止(下部工)
IJ	SUS304 -	12 t ×	174 ×	180	4.0	"	2.98	11.92			橋軸方向落橋防止(下部工)

₃ 取市加路田橋-40	<u>鋼材重量及び塗装面積集計表</u> 市加路田橋 – 400A、一固PB												
II	SUS304 —	22 t ×	174 ×	174	2.0]]	5.28	10.56			橋軸方向落橋防止(下部工)	
11	SUS304 —	12 t ×	80 ×	230	4.0	IJ	1.75	7.00			橋軸方向落橋防止(下部工)	
11	SUS304 —	22 t ×	350 ×	380	2.0	11	23.20	46.40			橋軸直角方向落橋	防止	
IJ	SUS304 —	19 t ×	300 ×	268	2.0	11	12.11	24.22			橋軸直角方向落橋	防止	
IJ	SUS304 —	12 t ×	258 ×	300	4.0	11	7.36	29.44			橋軸直角方向落橋	防止	
IJ	SUS304 —	12 t ×	100 ×	89	4.0	11	0.84	3.36			橋軸直角方向落橋	防止	
IJ.	SUS304 —	12 t ×	120 ×	420	2.0	11	4.79	9.58			橋軸直角方向落橋	防止	
鋼製フランジ	SUS304 —	100A (F12)		1.0	枚	4.64	4.64					
計								1866.73	0.000	0.639	総塗装面積	0.639	

橋台工数量集計表

谷 即	規格		単位		数量		乱上粉具
種別	規格	平江	A 1 橋台	A 2 橋台	合計	計上数量	
コンクリート	σ ck=24N/mm	2	${\tt m}^3$	1. 3	2. 1	3. 4	3
型枠	一般		\mathbf{m}^2	4. 2	14. 2	18. 4	18
	D13		kg	26	27	53	53
鉄筋	D16~D25		kg	10	40	50	50
(SD345)	D29~D32		kg	1	ı	1	0
	合計	kg	36	67	103	103	
機械式鉄筋定着工	$0 < L \le 1m$	D13	箇所	2	7	9	9
グレーチング	2100x1750		枚	ı	1	1	1

2-1. A 1 橋台

(1) コンクリート(σck=24N/mm2)

1) 竪壁

【2期施工分】

 $V_{2-1} = 1.840 \times 0.770$ $= 1.42 \text{ m}^3$ (水管控除) $V_{2-2} = 1/4 \times \pi \times 0.406 \text{ } 2 \times 1.022$ $= 0.13 \text{ m}^3$ $V_{2} = 1.42 - 0.13$ $= 1.29 \text{ m}^3$

コンクリート合計

竪壁(2期施工)	1. 29	\mathbf{m}^3
計	1. 29	m^3

(2) 型枠

1) 竪壁

【2期施工分】

$$A_{1-1} = (1.840 + 1.022) \times 0.770 \times 2 = 4.41 \text{ m}^2$$
 (水管控除)
$$A_{1-2} = 1/4 \times \pi \times 0.406 \quad 2 \times 2 = 0.26 \text{ m}^2$$
 $A_{2} = 4.41 - 0.26 = 4.15 \text{ m}^2$

型枠合計

竪壁(2期施工)	4. 15	m^2
計	4. 15	m^2

(3) 鉄筋(SD345)

【1期施工】

	本体	合計
D13	120 kg	120 kg
D16	229 kg	
D19	= kg	229 kg
D22	= kg	223 Kg
D25	= kg	
D29	= kg	= kg
D32	= kg	= Kg
合計	349 kg	349 kg

機械式鉄筋定着工

(箇所)

	0m <l≦1m< th=""><th>1m<l≦2m< th=""><th>2m<l≦3m< th=""><th>備考</th></l≦3m<></th></l≦2m<></th></l≦1m<>	1m <l≦2m< th=""><th>2m<l≦3m< th=""><th>備考</th></l≦3m<></th></l≦2m<>	2m <l≦3m< th=""><th>備考</th></l≦3m<>	備考
D13	7	3		
D16	=	=		
合計	7	3		

【2期施工】

	本体	合計
D13	26 kg	26 kg
D16	10 kg	
D19	- kg	10 kg
D22	- kg	TO Kg
D25	- kg	
D29	- kg	- lea
D32	- kg	- kg
合計	36 kg	36 kg

機械式鉄筋定着工

(箇所)

	0m <l≦1m< th=""><th>1m<l≦2m< th=""><th>2m<l≦3m< th=""><th>備考</th></l≦3m<></th></l≦2m<></th></l≦1m<>	1m <l≦2m< th=""><th>2m<l≦3m< th=""><th>備考</th></l≦3m<></th></l≦2m<>	2m <l≦3m< th=""><th>備考</th></l≦3m<>	備考
D13	2	_	_	
D16	_	_	_	
合計	2	_	_	

2-2. A 2 橋台

(1) コンクリート(σ ck=24N/mm2)

1) 止壁・パラペット

$$② = 1.150 \times 2.400 \times 0.500$$

$$\begin{array}{ccccc} = & 0.78 & \text{m}^3 \\ = & 1.38 & \text{m}^3 \\ \hline & 2.16 & \text{m}^3 \end{array}$$

(水管控除)

$$V_1 = 1/4 \times \pi \times 0.406$$
 2 \times 0.500

$$=$$
 0.06 m^3

$$V = 2.16 - 0.06$$

$$=$$
 2. 10 m^3

コンクリート合計

止壁・パラペット (2期施工)	2.10 m ³
計	2.10 m^3

(2) 型枠

1) 止壁・パラペット

1	=	1.150	\times	0.200	\times	2
---	---	-------	----------	-------	----------	---

$$\boxed{2} = 1.150 \times 1.700 \times 4$$

$$3 = 1.150 \times 2.000$$

$$|4| = 1.150 \times 2.400$$

$$5 = 1.150 \times 0.500 \times 2$$

$$=$$
 0.46 m^2 $=$ 7.82 m^2

$$=$$
 2.30 m^2

$$=$$
 2.76 m^2

$$\frac{= 1.15 \text{ m}^2}{14.49 \text{ m}^2}$$

(水管控除)

$$A_1 = 1/4 \times \pi \times 0.406$$
 2 \times 2

$$=$$
 0.26 m^2

$$A = 14.49 - 0.26$$

$$= 14.23 \text{ m}^2$$

型枠合計

止壁・パラペット (2期施工)	14. 23 m^2
計	14. 23 m^2

(3) 鉄筋(SD345)

【1期施工】

	本体	合計
D13	160 kg	160 kg
D16	413 kg	
D19	= kg	413 kg
D22	= kg	710 Kg
D25	= kg	
D29	= kg	_ 1. ~
D32	= kg	= kg
合計	573 kg	573 kg

機械式鉄筋定着工

(箇所)

	$0m < L \le 1m$	1m <l≦2m< th=""><th>2m<l≦3m< th=""><th>備考</th></l≦3m<></th></l≦2m<>	2m <l≦3m< th=""><th>備考</th></l≦3m<>	備考
D13	=		10	
D16			8	
合計	=		18	

【2期施工】

	本体	合計
D13	27 kg	27 kg
D16	40 kg	
D19	- kg	40 kg
D22	- kg	40 Kg
D25	- kg	
D29	- kg	_ 1. ~
D32	- kg	- kg
合計	67 kg	67 kg

機械式鉄筋定着工

(箇所)

	$0 \text{m} < L \leq 1 \text{m}$	$1\text{m} < L \leq 2\text{m}$	$2m < L \leq 3m$	備考
D13	7	_	_	
D16	_	_	_	
合計	7	_	_	

取付工数量計算

集計表

百日	#11 1/2	出任	数量			供来
項目	規格	単位	A1橋台側	A2橋台側	合計	備考
平ブロック張						
平ブロック張	t=12cm、150kg/個以下	m^2	13. 07	21.65	34. 7	
基礎材	RC-40, t=200mm	m^2	13. 07	21.65	34. 7	
目地板	t=10mm	${\tt m}^2$	0. 24	0.39	0.6	
端止めコンクリート	σ ck=18N/mm 2	\mathbf{m}^3	1.61	1. 93	3.5	
型枠	一般型枠	\mathbf{m}^2	12. 94	15. 41	28. 4	
天端コンクリート	σ ck=18N/mm ²	\mathbf{m}^3	0.08	0.09	0.2	
型枠	小型構造物	\mathbf{m}^2	1. 53	1.81	3.3	
目地板	t=10mm	\mathbf{m}^2	1. 42	1. 67	3. 1	
基礎コンクリート	σ ck=18N/mm 2	\mathbf{m}^3	0. 25	0. 26	0.5	
型枠	小型構造物	m^2	3.48	3. 69	7. 2	
目地板	t=10mm	${\tt m}^2$	0.18	0.18	0.4	
張コンクリート	σ ck=18N/mm ²	m^2	2. 87	2. 87	5. 7	
小段平張工						
コンクリート	σ ck=18N/mm 2	${\tt m}^3$	2. 18	2. 16	4. 3	
型枠	一般	m^2	2. 28	2. 23	4. 5	
基礎材	RC-40	\mathbf{m}^3	1. 97	1.96	3.9	
目地板	t=10mm	m^2	2. 89	2. 83	5. 7	
復旧ブロック積						
間知ブロック積	350kg/m ³ 以上	\mathbf{m}^2	5. 74	6. 35	12. 1	
裏込材	RC-40	m ³	1. 43	1. 73	3. 2	
天端コンクリート	σ ck=18N/mm 2	m^3	0. 32	0.30	0.6	
 型枠	小型構造物	m^2	0.83	0. 79	1.6	
基礎コンクリート	σ ck=18N/mm 2	\mathbf{m}^3	0.46	0.43	0.9	
型枠	小型構造物	m^2	1. 60	1. 52	3. 1	

取付工数量

(1) 平張ブロック (t=120mm)

A1橋台側

Н	勾配	SL	延長	張ブロック	基礎材
(m)		(m)	(m)	(m^2)	$t=200mm (m^2)$
0. 180	2.00	0.402			
			2. 960	3.872	3. 872
0. 990	2.00	2. 214	0. 910	1. 964	1. 964
0. 940	2.00	2. 102			
0.000	2.00	0.000	0. 520	0. 547	0. 547
	_, ,,		1 000	1	
			1. 320		
1. 480	2.00	3. 309	0.100		
1. 880	2.00	4. 204	0. 180	0. 676	0. 676
			1. 470	6. 015	6.015
1. 780	2.00	3. 980			
		合計	7. 360	13. 07	13. 07

目地材(t=10mm,10m²あたり0.18m²とする)

 $A = 13.07 \div 10 \times 0.180$

 $= 0.24 \text{ m}^2$

A2橋台側

Н	勾配	SL	延長	張ブロック	基礎材
(m)		(m)	(m)	(m^2)	$t = 200 \text{mm} (\text{m}^2)$
0. 430	2. 00	0. 962			
			1. 150	1.813	1.813
0. 980	2. 00	2. 191	1. 750	4. 128	4. 128
1. 130	2.00	2. 527	1. 750	4. 120	4. 120
			0.450	0. 569	0. 569
0.000	2.00	0.000			
			1. 940		
0.000	2. 00	0.000		- T	
1.500	2 22	0.500	0.610	1.078	1. 078
1. 580	2. 00	3. 533	0.000	0	0
2, 600	2, 00	5. 814	0.000	U	U
2.000	2.00	0.011	2. 500	14.06	14.06
2. 430	2.00	5. 434			
		合計	8. 400	21. 65	21.65

目地材(t=10mm, 10m²あたり0.18m²とする)

 $A = 21.65 \div 10 \times 0.180$

 $= 0.39 \text{ m}^2$

(2) 端止めコンクリート(σck=18N/mm2)

A1橋台側

端止めコンクリート-A

A_1	=	(構造図より)	=	1.011 m ²	2					
A_2	=	(構造図より)	=	2.925 m ²	2					
V	=	$1/2 \times (1.011 + 2.925) \times 0.300$	=	$0.59 m^3$	3					
型	枠									
A	=	1.011 + 2.925								
	+	$1/2 \times (1.120 + 1.780) \times 0.300$								
	+	$1/2 \times (1.474 + 2.949) \times 0.300$	=	5.034 m ²	2					
端	端止めコンクリート-B									

A	=	(構造図	立よ	り)						=	=	3.408	${\tt m}^2$
V	=	3.408	×	0.3	00					Ξ	=	1.02	${\tt m}^3$
型	枠												
A	=	3.408	×	2	+	3.620	×	0.300		=	=	7.902	${\tt m}^2$

A2橋台側

端止めコンクリート-C

A_1	=	(構造図より)	=	1. 499	${\rm m}^2$
A_2	=	(構造図より)	=	1.661	${\tt m}^2$
V	=	$1/2 \times (1.499 + 1.661) \times 0.300$	=	0.47	${\tt m}^3$
型	!枠				
A	=	1.499 + 1.661			
	+	$1/2 \times (1.320 + 1.380) \times 0.300$			

 $+ 1/2 \times (1.921 + 2.055) \times 0.300 = 4.161 \text{ m}^2$

端止めコンクリート-D

AIII 112 (V) - V / / / I D			
A = (構造図より)	=	4.861	${\tt m}^2$
$V = 4.861 \times 0.300$	=	1.46	${\tt m}^3$
型枠			

 $= 11.244 \text{ m}^2$

 $A = 4.861 \times 2 + 5.074 \times 0.300$

(3) 天端コンクリート(σck=18N/mm2)			
A1橋台側		0.00	9
$V = 1/2 \times 0.200 \times 0.100 \times 7.660$	=	0.08	m³
型枠		1 500	2
$A = 0.200 \times 7.660$	=	1. 532	m²
目地材(t=10mm)		1 410	2
$A = 1/2 \times 0.200 \times 0.100 \times 4 + 0.180 \times 7.660$	_	1.419	m¯
A2橋台側			
$V = 1/2 \times 0.200 \times 0.100 \times 9.050$	=	0.09	\mathbf{m}^3
型枠			
$A = 0.200 \times 9.050$	=	1.810	\mathbf{m}^2
目地材(t=10mm)			
$A = 1/2 \times 0.200 \times 0.100 \times 4 + 0.180 \times 9.050$	=	1.669	${\tt m}^2$
(4) 基礎コンクリート(σck=18N/mm2)			
A1橋台側			
A = (設計図面CAD計測より)	=	0.045	\mathbf{m}^2
$V = 0.045 \times 5.52$	=	0.25	m^3
型枠			
$A = (0.150 + 0.120 + 0.360) \times 5.520$	=	3. 478	m^2
目地材(t=10mm)			
$A = 0.045 \times 4$	=	0. 180	m^2
A 이 선수 / JUI			
A2橋台側	_	0.045	2
A = (設計図面CAD計測より) V = 0.045 × 5.85		0.045	
V = 0.045 × 5.85 型枠	_	0. 26	m
至作 $A = (0.150 + 0.120 + 0.360) \times 5.850$	_	3. 686	_m 2
日地材(t=10mm)	_	J. 000	III
$A = 0.045 \times 4$	=	0. 180	m ²
		J. 100	111

(5) 張コンクリート(σck=18N/mm2)

A1橋台側

$$A = 0.02 + 2.85 = 2.87 \text{ m}^2$$

A2橋台側

$$A = 0.33 + 2.54 = 2.87 m^2$$

(6) 小段平張工

A1橋台側

W	延長	コンクリート	型枠	基礎材	目地板
(m)	(m)	σ ck=18N/mm ² (m ³)	(m^2)	$RC-40 (m^3)$	$t=10mm(m^2)$
0.000				-	
0.000	0. 160	0. 034	0.055	0. 028	0.071
1.800	0.100	0.001	0.000	0.020	0.011
1.000	4. 190	1. 534	1. 564	1. 394	1. 983
1. 560	1, 1, 1	1, 001	2,002	2, 00 2	2,000
	1. 790	0.61	0.659	0. 551	0.838
1.550					
		1		1	1
合計	6. 140	2. 18	2. 28	1.97	2.89

A2橋台側

W	延長	コンクリート	型枠	基礎材	目地板
(m)	(m)	$\sigma \text{ ck=18N/mm}^2 (\text{m}^3)$	(m^2)	$RC-40 (m^3)$	$t=10mm (m^2)$
0.000					
0.000	0.390	0. 082	0. 133	0.069	0. 172
1.800	0.000	0.002	0.100	0.003	0.112
1.000	3. 540	1. 292	1. 320	1. 174	1.674
1.550	0.010	1.202	1.020	1, 1, 1	1.011
1.000	2.060	0. 787	0. 775	0.718	0. 981
1.970		0	•••••	0	0.001
			•		
合計	5. 990	2. 16	2. 23	1. 96	2.83

(7) 復旧ブロック積

A1橋台側

Н	勾配	SL	延長	ブロック積	裏込材
(m)		(m)	(m)	350kg/m ³ 以上(m ²)	$RC-40 (m^3)$
1.960	0.40	2. 111			
1. 500	0. 10	2.111	2. 960	4. 702	1. 234
0.990	0.40	1.066		15	1.201
			0.910	0.965	0. 187
0.980	0.40	1.055			
0.000	0 10	0 000	0. 130	0.069	0.013
0.000	0.40	0.000			
		合計	4.000	5. 74	1. 43

天端コンクリート

コンクリート(σ ck=18N/mm²)

$$V = 0.798 \times 4.000 \div 10 = 0.32 \text{ m}^3$$

型枠(小型構造物)

$$A = 2.077 \times 4.000 \div 10 = 0.83 \text{ m}^2$$

基礎コンクリート

コンクリート(σ ck=18N/mm²)

$$V = 1.140 \times 4.000 \div 10 = 0.46 \text{ m}^3$$

型枠(小型構造物)

$$A = 4.000 \times 4.000 \div 10 = 1.60 \text{ m}^2$$

A2橋台側

Н	勾配	SL	延長	ブロック積	裏込材
(m)		(m)	(m)	350kg/m ³ 以上(m ²)	$RC-40 (m^3)$
2. 120	0.40	2. 283			
2. 120	0. 10	2.200	1.630	3. 230	0. 934
1.560	0.40	1.680	1.000	0.200	0.001
1.000	0.10	1.000	1.750	2. 799	0.717
1.410	0.40	1.519			
			0.420	0.319	0.079
0.000	0.40	0.000			
		^ ⇒1	0.000	2.05	1 70
		合計	3.800	6. 35	1. 73

天端コンクリート

コンクリート(σ ck=18N/mm²)

$$V = 0.798 \times 3.800 \div 10$$

 $= 0.30 \text{ m}^3$

型枠(小型構造物)

$$A = 2.077 \times 3.800 \div 10$$

 $= 0.79 \text{ m}^2$

基礎コンクリート

コンクリート(σ ck=18N/mm²)

$$V = 1.140 \times 3.800 \div 10$$

 $= 0.43 \text{ m}^3$

型枠(小型構造物)

$$A = 4.000 \times 3.800 \div 10$$

 $= 1.52 \text{ m}^2$

土工数量計算

集計表

工種	種別	細別	規格	単位		数量		計上数量
上作里	作里力リ	下四 万门	况价	中亚	A1橋台	A2橋台	合計	可上数里
土工								
歩車道境界	一時撤去			m	ı	10.0	10.0	10
転落防止柵	一時撤去			m		12.0	12.0	12

土工数量

(1) 歩車道境界ブロックの一時撤去

L = 10.0 m

(2) 転落防止柵の一時撤去

L = 12.0 m

			令和7年5月15日以降適用(鳥取巾水迫局)
	①この契約にま	いて適用する仕様書は特に定めのない	限り「鳥取市水道局水道工事標準仕様書」とし、調達公告日時点で
	最新の仕様書に	よること。また、この仕様書に定めの	ない事項は、「鳥取県土木工事共通仕様書」によること。
仕			-9工事の下請負の項中「鳥取県調査基準価格及び最低制限価格等設
様			氐入札価格調査制度実施要領(平成11年11月15日制定)第4条」と読
書	み替えるものと	:する。	
	③鳥取県土木工	፲事共通仕様書特記事項第2条の表1−1−1	-35諸法令の遵守の項中「鳥取県暴力団排除条例(平成23年鳥取県
	条例第3号)	とあるのは「鳥取市暴力団排除条例(平	^Z 成24年3月鳥取市条例第1号)」と読み替えるものとする。
		をとの調整)	7,44= 1 - 2,4 2,10 (2,41-2)(4,42)(4,42)(4,42)
	① (旧工事会		了以之以北 <i>怀</i> 了去【唱】 \$\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
			手川河川改修工事【県土整備部施行】及び加路田橋水管橋下部工事
		<u>【水道局施行】</u> と関連するの	で相互の連絡調整を密にすること。
	② (部分完成	え、着工保留)	
		河川区域内の作業(架設工を含	(む) については、 令和8年10月21日 まで 着手 (すること 、
		しないこと)。	() b c c ()
		0,44,50	
	③ (施工時間)		
		本工事の施工時間帯は、昼間施	工(8:30~17:00)を見込んでいる。
		の施工時間は	、: ~ :とする。
	④ (標準工期)		
	(M+1/91)	* 一事!!! * * * * * * * * * * * * * * * * * *	ては以下の条件で算定している。また、余裕期間設定工事について
		は実工期に余裕期間を加えたも	
_		項 目	適用
工		工期の設定方法	標準工期算定式・標準作業量による積み上げ日数
		本工事に使用する雨休率	0.88 (R1 ~R5 5年間平均値)
	<u> </u>		
程		休日・悪天候以外の作業不能日	日(令和年月日~令和年月日)
.—		標準工期(全体工期)	434日 (余裕期間 含む ・含まない)
	⑤ (余裕期間影	[定工事]	
		本丁事は 鳥取市水道局会裕期	間設定工事に係る実施要領の対象工事であり、工事開始日、前払金
			の取扱いについては、同要領の規定による。
		標準工期については、④のとお	92900
	⑥(鋼材の調達	で遅れによる工期の延長) 	
		この工事の工期には、鋼材調達	期間として、 <u>ヶ月</u> を見込んでいるが、受注者の責に帰する
		ことができない事由により鋼材	の調達が遅れ <u>、工期内</u> に工事を完成することができない場合は、そ
	@ (WH 2 D T	ことができない事由により鋼材の理由を明示した書面により、発	
	⑦(週休2日コ	ことができない事由により鋼材の理由を明示した書面により、発 工事)	の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、そ 注者に工期の延長変更を請求することができる。
	⑦(週休2日エ	ことができない事由により鋼材の理由を明示した書面により、発 工事)	の調達が遅れ <u>、工期内</u> に工事を完成することができない場合は、そ
	⑦(週休2日エ	ことができない事由により鋼材の理由を明示した書面により、発 工事)	の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、そ 注者に工期の延長変更を請求することができる。
	⑦(週休2日エ	ことができない事由により鋼材の理由を明示した書面により、発 工事)	の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、そ 注者に工期の延長変更を請求することができる。
		ことができない事由により鋼材 の理由を明示した書面により、発 工事) 本工事は、鳥取市水道局「週休	の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、そ 注者に工期の延長変更を請求することができる。
用	⑦(週休2日I ①(周地、物件	ことができない事由により鋼材の理由を明示した書面により、発工事) 本工事は、鳥取市水道局「週休	の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、そ注者に工期の延長変更を請求することができる。 2日工事」実施要領の対象工事である。
用地		ことができない事由により鋼材の理由を明示した書面により、発工事) 本工事は、鳥取市水道局「週休 本工事は、鳥取市水道局「週休	の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、そ 注者に工期の延長変更を請求することができる。
地		ことができない事由により鋼材の理由を明示した書面により、発工事) 本工事は、鳥取市水道局「週休 - 等未処理) 本工事区間のに うこと。	の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、そ注者に工期の延長変更を請求することができる。 2 日工事」実施要領の対象工事である。 はがあるので、監督員と打合せのうえ施工を行
地関		ことができない事由により鋼材の理由を明示した書面により、発工事) 本工事は、鳥取市水道局「週休 本工事は、鳥取市水道局「週休	の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、そ注者に工期の延長変更を請求することができる。 2 日工事」実施要領の対象工事である。 はがあるので、監督員と打合せのうえ施工を行
地		ことができない事由により鋼材の理由を明示した書面により、発工事) 本工事は、鳥取市水道局「週休 - 等未処理) 本工事区間のに うこと。	の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、そ注者に工期の延長変更を請求することができる。 2 日工事」実施要領の対象工事である。 はがあるので、監督員と打合せのうえ施工を行
地関		ことができない事由により鋼材の理由を明示した書面により、発 (本工事は、鳥取市水道局「週休 本工事は、鳥取市水道局「週休 本工事区間のに うこと。 なお、頃	の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、そ注者に工期の延長変更を請求することができる。 2 日工事」実施要領の対象工事である。 はがあるので、監督員と打合せのうえ施工を行
地関	① (用地、物件	ことができない事由により鋼材の理由を明示した書面により、発工事) 本工事は、鳥取市水道局「週休本工事区間のにうこと。なお、頃_	の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、そ注者に工期の延長変更を請求することができる。 2 日工事」実施要領の対象工事である。 はがあるので、監督員と打合せのうえ施工を行の予定である。
地関	① (用地、物件	ことができない事由により鋼材の理由を明示した書面により、発工事) 本工事は、鳥取市水道局「週休本工事区間のにうこと。なお、頃	の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、そ注者に工期の延長変更を請求することができる。 2 日工事」実施要領の対象工事である。 はがあるので、監督員と打合せのうえ施工を行の予定である。 調査については、〔未調査・(水道・下水道・電気・通信・ガス・
地関	① (用地、物件	ことができない事由により鋼材の理由を明示した書面により、発工事) 本工事は、鳥取市水道局「週休本工事区間のにうこと。なお、頃_ ②事前調査) 工事に係る地下埋設物等の事前 その他)について調査済	の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、そ注者に工期の延長変更を請求することができる。 2 日工事」実施要領の対象工事である。 はがあるので、監督員と打合せのうえ施工を行の予定である。 調査については、〔未調査・(水道・下水道・電気・通信・ガス・ み〕である。
地関	① (用地、物件	ことができない事由により鋼材の理由を明示した書面により、発工事) 本工事は、鳥取市水道局「週休本工事区間の	の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、そ注者に工期の延長変更を請求することができる。 2 日工事」実施要領の対象工事である。 はがあるので、監督員と打合せのうえ施工を行の予定である。 調査については、〔未調査・(水道・下水道・電気・通信・ガス・ み〕である。 内で埋設が確認されている地下埋設物等は、(水道・下水道・電気
地関係	① (用地、物件	ことができない事由により鋼材の理由を明示した書面により、発工事) 本工事は、鳥取市水道局「週休本工事区間の	の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、そ注者に工期の延長変更を請求することができる。 2 日工事」実施要領の対象工事である。 はがあるので、監督員と打合せのうえ施工を行の予定である。 調査については、〔未調査・(水道・下水道・電気・通信・ガス・ み〕である。
地関係	① (用地、物件	ことができない事由により鋼材の理由を明示した書面により、発工事は、鳥取市水道局「週休本工事は、鳥取市水道局「週休本工事区間のにうこと。なお、頃_ 事前調査う エ事に係る地下埋設物等の事前である。 をの他)について調査済事前調査済みのうち本工事区域に、通信・ガス・その他」で	の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、そ注者に工期の延長変更を請求することができる。 2 日工事」実施要領の対象工事である。 はがあるので、監督員と打合せのうえ施工を行の予定である。 調査については、〔未調査・(水道・下水道・電気・通信・ガス・み 〕である。 内で埋設が確認されている地下埋設物等は、(水道・下水道・電気であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。
地関係 支障	① (用地、物件	ことができない事由により鋼材の理由を明示した書面により、発工事は、鳥取市水道局「週休本工事は、鳥取市水道局「週休本工事区間の」にうこと。なお、」頃」 シ事前調査) エ事に係る地下埋設物等の事前にその他」とついて調査済事前調査済みのうち本工事区域にも対ス・その他」との他埋設が想定される未調査に	の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、そ注者に工期の延長変更を請求することができる。 2 日工事」実施要領の対象工事である。 はがあるので、監督員と打合せのうえ施工を行
地関係	① (埋設物等の	ことができない事由により鋼材の理由を明示した書面により、発工事は、鳥取市水道局「週休本工事は、鳥取市水道局「週休本工事区間のにうこと。なお、頃_ 事前調査う エ事に係る地下埋設物等の事前である。 をの他)について調査済事前調査済みのうち本工事区域に、通信・ガス・その他」で	の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、そ注者に工期の延長変更を請求することができる。 2 日工事」実施要領の対象工事である。 はがあるので、監督員と打合せのうえ施工を行
地関係 支障	① (用地、物件	ことができない事由により鋼材の理由を明示した書面により、発工事) 本工事は、鳥取市水道局「週休本工事区間の」にうこと。なお、」頃 「事前調査」 「事に係る地下埋設物等の事前である。」について調査済事前調査済みのうち本工事区域である。 「事がない。」である。 「もの他」」である。 「もの他」」である。 「もの他」」である。 「ものも、これを関係を表している。」である。 「ものも、これを表している。」である。 「ものも、これを表している。」である。 「ものも、これを表している。」である。 「ものも、これを表している。」である。 「ものも、これを表している。」である。 「ものも、これを表している。」である。 「ものものものものものものものものものものものものものものものものものものもの	の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、そ注者に工期の延長変更を請求することができる。 2日工事」実施要領の対象工事である。 はがあるので、監督員と打合せのうえ施工を行の予定である。 調査については、〔未調査・(水道・下水道・電気・通信・ガス・ み〕である。 内で埋設が確認されている地下埋設物等は、(水道・下水道・電気であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設に報告すること。
地関係 支障物	① (埋設物等の	ことができない事由により鋼材の理由を明示した書面により、発工事) 本工事は、鳥取市水道局「週休本工事区間の」について調査済事前調査済みのうち本工事区域・通信・ガス・その他」)でその他理設が想定される未調査を物等が確認された場合は、監督員	の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、そ注者に工期の延長変更を請求することができる。 2 日工事」実施要領の対象工事である。 はがあるので、監督員と打合せのうえ施工を行
地関係 支障物	① (埋設物等の	ことができない事由により鋼材の理由を明示した書面により、発工事は、鳥取市水道局「週休本工事は、鳥取市水道局「週休本工事区間の	の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、そ注者に工期の延長変更を請求することができる。 2 日工事」実施要領の対象工事である。 はがあるので、監督員と打合せのうえ施工を行の予定である。 調査については、〔未調査・(水道・下水道・電気・通信・ガス・ み〕である。 内で埋設が確認されている地下埋設物等は、(水道・下水道・電気 であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。 の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設 に報告すること。 て、が支障となっているが、 **** *** *** ** ** ** **
地関係 支障物	① (埋設物等の	ことができない事由により鋼材の理由を明示した書面により、発工事) 本工事は、鳥取市水道局「週休本工事区間の」について調査済事前調査済みのうち本工事区域・通信・ガス・その他」)でその他理設が想定される未調査を物等が確認された場合は、監督員	の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、そ注者に工期の延長変更を請求することができる。 2 日工事」実施要領の対象工事である。 はがあるので、監督員と打合せのうえ施工を行の予定である。 調査については、〔未調査・(水道・下水道・電気・通信・ガス・ み〕である。 内で埋設が確認されている地下埋設物等は、(水道・下水道・電気 であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。 の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設 に報告すること。 て、が支障となっているが、 **** *** *** ** ** ** **
地関係 支障物	① (埋設物等の	ことができない事由により鋼材の理由を明示した書面により、発工事は、鳥取市水道局「週休本工事は、鳥取市水道局「週休本工事区間の	の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、そ注者に工期の延長変更を請求することができる。 2 日工事」実施要領の対象工事である。 はがあるので、監督員と打合せのうえ施工を行の予定である。 調査については、〔未調査・(水道・下水道・電気・通信・ガス・ み〕である。 内で埋設が確認されている地下埋設物等は、(水道・下水道・電気 であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。 の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設 に報告すること。 て、が支障となっているが、 **** *** *** ** ** ** **
地関係 支障物	① (埋設物等の	ことができない事由により鋼材の理由を明示した書面により、発工事は、鳥取市水道局「週休本工事は、鳥取市水道局「週休本工事は、鳥取市水道局「週休本工事はの」にうこと。なお、」 頃	の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、そ注者に工期の延長変更を請求することができる。 2 日工事」実施要領の対象工事である。 はがあるので、監督員と打合せのうえ施工を行の予定である。 調査については、 [未調査・(水道・下水道・電気・通信・ガス・み)である。 内で埋設が確認されている地下埋設物等は、(水道・下水道・電気であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設に報告すること。 て、が支障となっているが、ま合は別途協議する。
地関係 支障物	① (用地、物件 ① (埋設物等の ② (支障物件) ③ (立木の置き	ことができない事由により鋼材の理由を明示した書面により、発工事は、鳥取市水道局「週休本工事は、鳥取市水道局「週休本工事は、鳥取市水道局「週休本工事区間の」にうこと。なお、」頃 「事前調査」 「事に係る地下埋設物等の事前である。「事前調査済みのうち本工事区域・通信・ガス・その他」」ででの他理設が想定される未調査を物等が確認された場合は、監督員の施工にある。「予定どおり処理できなかった場合は、場所」」 「本の他埋設が見込である。「おりのでは、一方では多いである。」では多いのでは、といった場合は、生物所)」 「本ののでは多いでは多いである。」では多いである。「おりのでは、といった場合は、生物所)」 「本ののでは、またいった場合は、生物所)」 「本ののでは、ないった場合は、生物所)」 「本ののでは、ないった場合は、生物所)」 「本のでは、またいった場合は、生物所)」 「本のでは、またいった。」 「本のいった。」 「本のでいった。」 「本のでいった。」 「本のいった。」 「本のでいった。」 「本のでいった。」 「本のでいった。」	の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、そ注者に工期の延長変更を請求することができる。 2 日工事」実施要領の対象工事である。 はがあるので、監督員と打合せのうえ施工を行の予定である。 調査については、〔未調査・(水道・下水道・電気・通信・ガス・ み〕である。 内で埋設が確認されている地下埋設物等は、(水道・下水道・電気 であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。 の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設 に報告すること。 て、が支障となっているが、 **** *** *** ** ** ** **
地関係 支障物	① (用地、物件 ① (埋設物等の ② (支障物件) ③ (立木の置き	ことができない事由により鋼材の理由を明示した書面により、発工事は、鳥取市水道局「週休本工事は、鳥取市水道局「週休本工事区間の	の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、そ注者に工期の延長変更を請求することができる。 2日工事」実施要領の対象工事である。 はがあるので、監督員と打合せのうえ施工を行の予定である。 調査については、〔未調査・(水道・下水道・電気・通信・ガス・み 〕である。 内で埋設が確認されている地下埋設物等は、(水道・下水道・電気であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設に報告すること。 て、が支障となっているが、ま合は別途協議する。 に置くこと。
地関係 支障物	① (用地、物件 ① (埋設物等の ② (支障物件) ③ (立木の置き	ことができない事由により鋼材の理由を明示した書面により、発工事) 本工事は、鳥取市水道局「週休本工事区間の」にうこと。なお、」頃 事前調査済みのうち本工事区域・通信・ガス・その他」)でその他埋設が想定される未調査を物等が確認された場合は、監督員の施工に当ってに移設が完了する見込である。予定どおり処理できなかった場でに移設が完了する見込である。予定どおり処理できなかった場でに移設が完了する見込である。予定どおり処理できなかった場でに移設が完了する見込である。予定どおり処理できなかった場でに移設が完了する見込である。予定どおり処理できなかった場でに移設が完了する見込である。予定どおり処理できなかった場でに移設が完了する見込である。	の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、そ注者に工期の延長変更を請求することができる。 2日工事」実施要領の対象工事である。 はがあるので、監督員と打合せのうえ施工を行があるので、監督員と打合せのうえ施工を行がある。 調査については、 [未調査・(水道・下水道・電気・通信・ガス・み) である。 内で埋設が確認されている地下埋設物等は、(水道・下水道・電気であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設に報告すること。 て、が支障となっているが、 ま合は別途協議する。 に置くこと。 については、特に生活環境を保全する必要があるの
, 地関係 支障物件	① (用地、物件 ① (埋設物等の ② (支障物件) ③ (立木の置き	ことができない事由により鋼材の理由を明示した書面により、発工事) 本工事は、鳥取市水道局「週休本工事区間の」にうこと。なお、」頃 事前調査済みのうち本工事区域・通信・ガス・その他」)でその他埋設が想定される未調査を物等が確認された場合は、監督員の施工に当ってに移設が完了する見込である。予定どおり処理できなかった場でに移設が完了する見込である。予定どおり処理できなかった場でに移設が完了する見込である。予定どおり処理できなかった場でに移設が完了する見込である。予定どおり処理できなかった場でに移設が完了する見込である。予定どおり処理できなかった場でに移設が完了する見込である。予定どおり処理できなかった場でに移設が完了する見込である。	の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、そ注者に工期の延長変更を請求することができる。 2日工事」実施要領の対象工事である。 はがあるので、監督員と打合せのうえ施工を行の予定である。 調査については、〔未調査・(水道・下水道・電気・通信・ガス・み 〕である。 内で埋設が確認されている地下埋設物等は、(水道・下水道・電気であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設に報告すること。 て、が支障となっているが、ま合は別途協議する。 に置くこと。
地関係 支障物件 公	① (用地、物件 ① (埋設物等の ② (支障物件) ③ (立木の置き	ことができない事由により鋼材の理由を明示した書面により、発工事は、鳥取市水道局「週休本工事は、鳥取市水道局「週休本工事は、鳥取市水道局「週休本工事は、鳥取市水道局「週休ったと。なお、「頃」のまた。なお、「頃」の事前調査)をの他」とのいて調査済事前調査済みのうち本工事区域・通信・ガス・その他」といる未調査が等が確認された場合は、監督員の施工におきなかった場でに移設が完了する見込である。予定どおり処理できなかった場でに移設が完了する見込である。予定どおり処理できなかった場に動型建設機械)を工事用地内の立木は伐採し、「低振動型建設機械」を工事のうち施工箇所:「で、下記工種の施工に当たっては	の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、そ注者に工期の延長変更を請求することができる。 2日工事」実施要領の対象工事である。 はがあるので、監督員と打合せのうえ施工を行の予定である。 調査については、 [未調査・(水道・下水道・電気・通信・ガス・ み] である。 内で埋設が確認されている地下埋設物等は、(水道・下水道・電気であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設に報告すること。 て、が支障となっているが、ま合は別途協議する。 に置くこと。 については、特に生活環境を保全する必要があるの、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定(国土交通省告
地関係 支障物件 公害	① (用地、物件 ① (埋設物等の ② (支障物件) ③ (立木の置き	ことができない事由により鋼材の理由を明示した書面により、発工事は、鳥取市水道局「週休本工事は、鳥取市水道局「週休本工事は、鳥取市水道局「週休本工事は、鳥取市水道局「週休本工事に関の」といるといるない。 頃	の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、そ注者に工期の延長変更を請求することができる。 2日工事」実施要領の対象工事である。 はがあるので、監督員と打合せのうえ施工を行の予定である。 調査については、〔未調査・(水道・下水道・電気・通信・ガス・ み〕である。 内で埋設が確認されている地下埋設物等は、(水道・下水道・電気であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設に報告すること。 て、が支障となっているが、 ま合は別途協議する。 に置くこと。 については、特に生活環境を保全する必要があるの、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定(国土交通省告づき指定された建設機械を使用するものとする。
(地関係 支障物件 公害対	① (用地、物件 ① (埋設物等の ② (支障物件) ③ (立木の置き	ことができない事由により鋼材の理由を明示した書面により、発工事は、鳥取市水道局「週休本工事は、鳥取市水道局「週休本工事は、鳥取市水道局「週休本工事は、鳥取市水道局「週休本工事に関の」といるといるない。 頃	の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、そ注者に工期の延長変更を請求することができる。 2日工事」実施要領の対象工事である。 はがあるので、監督員と打合せのうえ施工を行の予定である。 調査については、 [未調査・(水道・下水道・電気・通信・ガス・ み] である。 内で埋設が確認されている地下埋設物等は、(水道・下水道・電気であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設に報告すること。 て、が支障となっているが、ま合は別途協議する。 に置くこと。 については、特に生活環境を保全する必要があるの、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定(国土交通省告
地関係 支障物件 公害	① (用地、物件 ① (埋設物等の ② (支障物件) ③ (立木の置き	ことができない事由により鋼材の理由を明示した書面により、発工事は、鳥取市水道局「週休本工事は、鳥取市水道局「週休本工事は、鳥取市水道局「週休本工事は、鳥取市水道局「週休本工事に関の」といるといるない。 頃	の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、そ注者に工期の延長変更を請求することができる。 2日工事」実施要領の対象工事である。 はがあるので、監督員と打合せのうえ施工を行の予定である。 調査については、〔未調査・(水道・下水道・電気・通信・ガス・ み〕である。 内で埋設が確認されている地下埋設物等は、(水道・下水道・電気であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設に報告すること。 て、が支障となっているが、 ま合は別途協議する。 に置くこと。 については、特に生活環境を保全する必要があるの、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定(国土交通省告づき指定された建設機械を使用するものとする。

	①(交通安全施設等)
	- ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議で
	ること。
	· 交通誘導員A <u>1人</u> 交替要員 <u>0人</u> 1日あたり合計 1人 配置日数 47日
	工事全体合計 47人・日
安	<u> </u>
全	工事全体合計 47人・日
対 策	警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下の
×	とおりとする。
	交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4項に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合権
	警備員又は2級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する
	警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。
	なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教
	育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置していることとみなす。
	①(濁水処理)
	工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書による
	ものとする。なお、これにより難い場合は別途協議すること。
濁	また、舗装の切断作業時に発生する排水の処理についても、舗装の切断作業時に発生する排水の処理についても、舗装の切断作業時に発生する排水の処理について(平成29年10月3日付事務連絡生活環境課長通知)に基づいて適正に処理すること。
水	理について(平成29年10月3日付事務連綸生活環境課長連邦)に基づいて適正に処理すること。 (参考URL https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1141896/120327hosousetudan.pdf)
処	② (千代川水系における濁水防止対策)
理	本工事は千代川水系内における工事であり、濁水防止対策等については、千代川漁業対策協議会事
	業調整会議において〔 未調整 ・調整済み〕である。
	なお、未調整工事については、までに調整を行う予定である。
	工事の実施にあたっては、現場説明書8、9を遵守し、汚濁等の防止に努めること。
	【建設発生土(処理)】
	工事租場から離れた埋命に一定相構!! 上の一時的た上石の推積を行う埋合は宅地造成及び特定成上築相割注(成上相集
	工事現場から離れた場所に一定規模以上の一時的な土石の堆積を行う場合は宅地造成及び特定盛土等規制法(盛土規制法)の許可が必要となるため、適正に手続きを行うこと。
	工事現場から離れた場所に一定規模以上の一時的な土石の堆積を行う場合は宅地造成及び特定盛土等規制法(盛土規制法)の許可が必要となるため、適正に手続きを行うこと。 (参考URL https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1701049600133/index.html)
	法)の許可が必要となるため、適正に手続きを行うこと。 (参考URL https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1701049600133/index.html) ① (他工事等流用)
	法)の許可が必要となるため、適正に手続きを行うこと。 (参考URL https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1701049600133/index.html) ① (他工事等流用) 建設発生土は市・町・村地内の工事現場に運搬(片道運搬
	法)の許可が必要となるため、適正に手続きを行うこと。 (参考URL https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1701049600133/index.html) ① (他工事等流用)
	法)の許可が必要となるため、適正に手続きを行うこと。 (参考URL https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1701049600133/index.html) ① (他工事等流用) 建設発生土は市・町・村地内の工事現場に運搬(片道運搬 距離km) するものとする。 ② (建設技術センター)
	法) の許可が必要となるため、適正に手続きを行うこと。 (参考URL https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1701049600133/index.html) ① (他工事等流用)
	法)の許可が必要となるため、適正に手続きを行うこと。 (参考URL https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1701049600133/index.html) ① (他工事等流用) 建設発生土は市・町・村地内の工事現場に運搬(片道運搬 距離km) するものとする。 ② (建設技術センター)
	法) の許可が必要となるため、適正に手続きを行うこと。 (参考URL https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1701049600133/index.html) ① (他工事等流用)
	 法)の許可が必要となるため、適正に手続きを行うこと。 (参考URL https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1701049600133/index.html) ① (他工事等流用)
建	 法)の許可が必要となるため、適正に手続きを行うこと。 (参考URL https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1701049600133/index.html) ① (他工事等流用) 建設発生土は市・町・村地内の工事現場に運搬(片道運搬 に上で重要である。 ② (建設技術センター) 建設発生土は市・町・村地内のセンター事業所に運搬(片道運搬距離km)するものとする。なお、処理費として1m3当り円(税抜き)をセンターに支払うこと。センター事業所へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状(記載例)砂質土、コーン指数300kN/m2以上) ③ (民間残土受入地) 建設発生土は 市・町・村 地内の に運搬(片道運搬距離 km) で 企業般名生は 市・町・村 地内の に運搬(片道運搬距離 km) で 企業般名生は 市・町・村 地内の に運搬(片道運搬距離 km) で 企業機(片道運搬距離 km) で 株本 に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
建設	法) の許可が必要となるため、適正に手続きを行うこと。
設副	法) の許可が必要となるため、適正に手続きを行うこと。 (参考URL https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1701049600133/index.html) ① (他工事等流用) 建設発生土は市・町・村地内の工事現場に運搬(片道運搬 (片道運搬 に
設副産	法) の許可が必要となるため、適正に手続きを行うこと。
設副産物	法) の許可が必要となるため、適正に手続きを行うこと。 (参考URL https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1701049600133/index.html) ① (他工事等流用) 建設発生土は
設副産物の	法) の許可が必要となるため、適正に手続きを行うこと。 (参考URL https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1701049600133/index.html) ① (他工事等流用) 建設発生土は市・町・村地内の工事現場に運搬(片道運搬距離km)するものとする。 ② (建設技術センター) 建設発生土は市・町・村地内のセンター事業所に運搬(片道運搬距離km)するものとする。なお、処理費として1m3当り円(税抜き)をセンターに支払うこと。センター事業所へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状(記載例)砂質土、コーン指数300kN/m2以上) ② (民間残土受入地) 建設発生土は市・町・村 地内のに運搬(片道運搬距離km)するものとする。なお、処理費として1m3当り円(税抜き)をに支払うこと。民間残土受入地へ搬出する土砂の土質は、各受入地が指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状 (記載例)砂質土、コーン指数 300kN/m2以上) ④ (土質改良プラント) 建設発生土は 市・町・村 地内の に運搬(片道運搬距離km)するものとする。なお、処理費として1m3当り 円(税抜き)を に支払うこと。
設副産物	法) の許可が必要となるため、適正に手続きを行うこと。 (参考URL https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1701049600133/index.html) ① (他工事等流用) 建設発生土は市・町・村
設副産物の処	法) の許可が必要となるため、適正に手続きを行うこと。 (参考URL https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1701049600133/index.html) ① (他工事等流用) 建設発生土は市・町・村地内の工事現場に運搬(片道運搬距離km)するものとする。 ② (建設技術センター) 建設発生土は市・町・村地内のセンター事業所に運搬(片道運搬距離km)するものとする。なお、処理費として1m3当り円(税抜き)をセンターに支払うこと。センター事業所へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状(記載例)砂質土、コーン指数300kN/m2以上) ② (民間残土受入地) 建設発生土は市・町・村 地内のに運搬(片道運搬距離km)するものとする。なお、処理費として1m3当り円(税抜き)をに支払うこと。民間残土受入地へ搬出する土砂の土質は、各受入地が指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状 (記載例)砂質土、コーン指数 300kN/m2以上) ④ (土質改良プラント) 建設発生土は 市・町・村 地内の に運搬(片道運搬距離km)するものとする。なお、処理費として1m3当り 円(税抜き)を に支払うこと。
設副産物の処	法) の許可が必要となるため、適正に手続きを行うこと。 (参考URL https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1701049600133/index.html) ① (他工事等流用) 建設発生土は市・町・村
設副産物の処	法) の許可が必要となるため、適正に手続きを行うこと。 (参考URL https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1701049600133/index.html) ① (他工事等流用) 建設発生土は市・町・村
設副産物の処	法) の許可が必要となるため、適正に手続きを行うこと。 (参考URL https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1701049600133/index.html) ① (他工事等流用) 建設発生土は
設副産物の処	法) の許可が必要となるため、適正に手続きを行うこと。 (参考URL https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1701049600133/index.html) ① (他工事等流用) 建設発生土は
設副産物の処	法)の許可が必要となるため、適正に手続きを行うこと。 (参考URL https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1701049600133/index.html) ① (他工事等流用) 建設発生土は
設副産物の処	法) の許可が必要となるため、適正に手続きを行うこと。 (参考URL https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1701049600133/index.html) ① (他工事等流用) 建設発生土は

建設副産物の処理

現場説明書

(2)	(F	五.3	答:	酒/	化協	シュ シュ	榔田)	١
(-	$\overline{}$			7715	17771		1/1X LL /	_

コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設等への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。

なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。

(施設の名称・受入れ費用)

コンクリート塊	市・町・	・村	地内の	
	(運搬距離	km)、費用	1 t 当り	_円(税抜き)
アスファルト塊	市・町・	村	地内の	<u> </u>
	(運搬距離	km)、費用	1 t 当り	円(税抜き
建設発生木材	<u>鳥取</u> 市・町・	 村		
	(運搬距離	km)、費用	1 t 当り	円(税抜き
その他(鉄くず)	鳥取 市・町・	村	地内の	
	(運搬距離	km)、費用	1 t 当り	円(税抜き

(受入れ時間帯) 8時~17時(平日)

(受入れ条件) ア 路盤材、土砂、金属片等が混入していないこと。

イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。

ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径___cm以下、長さ____m以下であること。

エ 2次災害発生の恐れのある物質(廃油等)を含まないこと。

③ (他工事等流用)

[Co塊·	〕は、	市・町・村	地内	工事現場に運搬	(片道運
搬距離	km) するものとする。				

④ (最終処理等)

	については、	市・町・村		地内の産業廃棄物処理	里場への搬出	(片道運搬距
離	km) を想定し、	その費用として1 t 当り		円(税抜き)	を見込んでい	る。
これ	は、他の施設へ搬	出を妨げるものではない	が、	搬出先を変更する場合	合は協議を行	うこと。
田に杉	(ス超)					

⑤ (産業廃棄物の処理に係る税)

産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を、_____円(税抜き)見込んでいる。

⑥ (木材市場等へ売却)

建設発生木材は_____市・町・村_____地内の____への搬出(片道運搬距離____km)を想定し_____円(税抜き)を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合の理由を付して協議すること。

⑦ (伐木工歩掛及び参考数量)

伐木工は伐木工歩掛(令和元年10月15日付第201900175199号鳥取県県土整備部技術企画課長通知)による。また伐採工計算書に基づき参考数量として算出しているので、実績について見積もり等により監督員に協議を行うこと。

⑧ (建設発生木材の出来形数量)

建設発生木材の運搬量、搬出量は出来形数量に応じて設計変更を行う。そのため、次のとおり数量 管理を行うこと。

工種	項目	規格	摘要
建設発生木材運搬量	現場において運搬車の計測を行うこと。 平均的な1断面を計測。計 測に当たっては、頂部に最低 2箇所の折れ点を設けること。 断面積に荷台の延長を乗じ て体積を算定する。	運搬車全数の測定を行うこと。また、10台に1台の割合で写真管理を行うこと。ただし、搬出台数が10台に満たない場合は、2台以上写真管理を行うこと。 なお、マニフェストで運搬量(体積(空m3))が確認出来る場合は、計測、写真管理は不要とする。	折れ点を 2 点以上設ける 平均的な断面
建設発生木 材搬出量	マニフェスト又は伝票管理 を行うこと。	運搬車全数の管理を行うこと。	伝票は処分業者が発行した ものでなければならない。

⑨ (マニフェスト)

産業廃棄物の運搬又は処分を他人に委託するときは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づきマニフェストを作成すること。ただし、一般廃棄物や有価物は不要である。

	① (建設発生土の体	実用)
		工事から〔本工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、 使用
		箇所:に使用する。
	② (再生資材の使用	用)
		ア Co雑割材は、工事から運搬し、使用箇所:に使用する。
建		イ アスファルト・コンクリート切削殻等は、工事から運搬し、使用箇所:に使用する。
設		ウ 再生クラッシャーラン 〔規格:RC- <u>40</u>] は、使用箇所: <u>基礎材</u> に使用する。
副		エ 再生コンクリート砂〔規格:RS〕は、使用箇所:に使用する。
産		オ 再生加熱アススファルト混合物〔規格:〕は、使用箇所:に使用する。
物		カ その他再生資材〔資材名:〕〔規格:〕は、使用箇所:に使用する。
の		キ 本工事において、再生クラッシャランの使用は上記ウに記載のものを想定している。当該砕石に
使		ついて、受注者が再生資源化施設側と供給状況等について協議し、再資源化施設側から書面によ
用		り供給の確保ができない旨の回答があった場合には、他の再生砕石を使用することとし、設計変
		更の対象とする。その上で他の再生砕石の確保も難しいと判断された場合には、新材を使用する
		こととし、設計変更の対象とする。
		ク 本工事において、粒度調整砕石の使用は新材を想定している。ただし、受注者が再生材の使用 を
		希望する場合には、受注者において供給状況を確認し、再生材の使用について協議することと し、
		設計変更の対象とする。
	① (農地の一時転)	則について)
		本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合
		は、事前に鳥取市農業委員会と協議を行い、農地法第5条第1項に基づく農地一時転用の許可を得る
		こと。
		【令和5年4月1日時点で、前工事等の請負業者が一時転用している農地を継続して利用する場合
エ		は、以下も記載する。(該当がなければ記載を削除)】
事		受注者は、前工事等の請負業者が農地一時転用している農地を継続して利用する場合、速やかに変
用		更報告書を作成の上、鳥取市農業委員会へ提出し、工事完了後はその旨を連絡すること。
道	② (農地の賃貸借)	<u> </u>
路		アの用途に使用するため、鳥取市
		ととし、原状復旧の責は鳥取市が負い、受注者がその任に当たるものとする。」を明記すること。
		ウ 賃貸人に賃貸借料を支払うこと。
		エ 工事完了後、速やかに農地の原状に復旧すること。 オ イにより契約した地番における、農地一時転用許可は不要である。
		ス 1により失約した地番にわける、長地一時転用計りは小安(める。
仮		
設		
備		
	①_(自社施工)_	本工事においては、 $\underline{\hspace{1cm}}$ ($\underline{\hspace{1cm}}$ 工 $(\underline{\hspace{1cm}}$ 工 $(\underline{\hspace{1cm}}$ 工 $(\underline{\hspace{1cm}}$ を除く $)$ のうち少な
	,	くとも 千円までの部分は、鳥取県県土整備部自社施工対象工事適正実施要領(平成22年
		7月12日付第201000057710号県土整備部長通知)に定めるところにより自社施工しなければならない。
		※該当する細別(レベル4)を記載する。
	② (工事名称)	工事標示板に記載する名称は、 加路田橋水管橋上部工事 とする。
		なお、工事標示板には、原則として県産木材を使用すること。また、その他の保安施設等について
		も積極的に県産木材を使用すること。
	③ (監督体制)	本工事の監督体制は(一般・ 重点)監督とする。
そ		重点監督の工種はというとし、その他の工種は一般監督とする。
の		なお、鳥取市建設工事低入札価格調査制度対象工事となった場合は、別途通知する。
他	① (三者協議)	本工事は、工事であり、工事着工までに、施工条件及び施工の留意点等を確
		認するため、発注者並びに当該工事の測量等業務受注者及び施工受注者の三者で協議するものとす
		る。(重点監督工事等に適用)
	⑤ (技能士常駐)	本工事には、下記のとおり鳥取県土木工事共通仕様書特記事項に基づく技能士常駐対象工種が含ま
		れており、該当工種の作業期間は、技能士が工事現場に常駐しなければならない。
		ア 技能士種別:
		イ 技能士種別:
		ウ 技能士種別: 技能士

⑥ (寒中コンクリート)

本工事は、寒中コンクリートとして施工を行わなければならない期間があるので、適正に実施すること。なお、寒中コンクリートの養生費用については、「寒中コンクリートの養生費用について」(平成23年12月7日付第201100123529号県土整備部長通知)に基づいて処理することとし、設計変更の対象とする。

⑦ (実施単価全面改定時の適用単価)

実施単価全面改定後に指名通知を行う工事は最新単価を適用することとしているが、本工事は旧単価において積算を行っているため、契約締結後には速やかに最新単価に基づく変更契約を行う。

⑧ (設計業務の委託者)

本工事の設計業務は ㈱ウエスコ が行っている。

② (建設機械の賃料の採用単価)

ア 建設機械の賃料について、ラフテレーンクレーン及び高所作業車以外の建設機械は長期割引単価 を標準としている。

通常単価を採用した建設機械〔無し・有り(

イ ラフテレーンクレーン及び高所作業車について、1ヶ月以上の長期利用に当たるものは長期割引 単価を採用し、1ヶ月未満の利用に当たるものは通常単価を採用している。

本工事の____工で使用を想定しているラフテレーンクレーン(規格____t吊)の採用単価は、(通常単価・長期割引単価)(建設物価___月号___頁)を採用し、本工事の___工で使用を想定している高所作業車(規格____t吊)の採用単価は、(通常単価・長期割引単価)(建設物価___月号___頁)を採用している。

⑩ (現場環境改善)

【災害復旧工事以外】 (該当しない場合は削除)

本工事は、現場環境改善(率計上分)実施対象工事と〔する・しない〕。

下表の内容のうち原則として各費目(仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携)ごとに1実施内容ずつ(いずれか1項目のみ2実施内容)の合計5つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。

実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。

地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計 変更は行わないが、その内容(目的に資するものであること)について監督員の確認を受けること。 1内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。

また、主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用については、率分の計上ではなく、契約変更時に対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行う。施設・設備の種類や規模及び設置期間については、監督員と協議の上、決定する。

計上費目	実施内容
	1. 用水・電力等の供給設備,2. 緑化・花壇
仮設備関係	3. ライトアップ施設、4. 見学路及び椅子の設置
	5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減
	1. 現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む)
	2. 労働者宿舎の快適化
営繕関係	3. デザインボックス(交通誘警備員待機室)
	4. 現場休憩所の快適化
	5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等
	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ(電光式
安全関係	標識等)
	2. 盗難防止対策(警報機等)
	1. 完成予想図,2. 工法説明図,3. 工事工程表
	4. デザイン工事看板(各工事PR看板含む)
地域連携	5. 見学会等の開催(イベント等の実施含む)
地域建物	6. 見学所(インフォメーションセンター)の設置及び管理運営
	7. パンフレット・工法説明ビデオ
	8. 地域対策費等(地域行事等の経費を含む), 9. 社会貢献
防災・危機管理関係	1. 防災訓練(地震・台風等の自然災害に対する訓練)
(港湾・漁港事業)	
【《宝海山工車】 (該	水 1 キュノ相 グリヤ川冷/

【災害復旧工事】 (該当しない場合は削除)

現場環境改善費における主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用は、契約変更時に対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行う。施設・設備の種類や規模及び設置期間については、監督員と協議の上、決定する。

① (熱中症対策)

熱中症対策について https://www.pref.tottori.lg.jp/291941.htm に掲載の熱中症予防対策資料を参考に熱中症予防対策を実施すること。 また、気象庁から高温注意報(最高気温 3 5 ℃以上が予想される場合)が発表された日においては、作業の中断、作業時間の短縮を行うか、十分な水分、塩分の摂取のほか休憩場所の整備及び十分な休憩時間を確保するなどの熱中症予防対策を確実に実施したうえで作業を行うこと。

⑫ (現場管理費補正)

本工事は、熱中症対策に資する現場管理費補正の対象工事と〔する・しない〕。

熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、

https://www.pref.tottori.lg.jp/285759.htm (治山工事、林道工事の場合は

https://www.pref.tottori.lg.jp/318163.htm) に掲載の熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領に基づき、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。計測結果は施工計画書に基づき、計測結果の資料を工期末の14 日前までに提出すること。

③ (日本芝生産地への配慮)

日本芝の生産に配慮した植生工について(令和2年2月27日付第201900299342号県土整備部長通知) (https://www.pref.tottori.lg.jp/290178.htm) に基づき、日本芝を生産するほ場と、その前後も含めたほ場に隣接する法面においては、植生工にバミューダグラスの使用を禁止する。

- ア 〔張芝工・筋芝工〕は、日本芝の〔野芝・高麗芝〕を使用すること。
- イ 〔植生基材吹付工・客土吹付工・種子散布工・枠内吹付工〕に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。配合種子は監督員と協議のうえ決定すること。
- ウ 〔わら芝工・植生シート工・植生マット工〕に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。バミューダグラスの代替えの種子として○○を使用し、材料費として1m2当り___ 円を見込んでいる。

⑩ (ICT 活用工事[受注者希望型(LightICT を含む)])

本工事は、受注者希望型(LightICT を含む)の対象工事である。ICT の活用を希望する場合は、最新の「ICT 活用工事特記仕様書(受注者希望型)」によること。

仕様書の改定状況はhttps://www.pref.tottori.lg.jp/269460.htmを参照すること。

⑤ (土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事)

本工事は、労働安全衛生規則第2編第12章「土石流による危険の防止」に定める、土石流が発生する恐れのある現場において行う工事である。

安全対策について、https://www.pref.tottori.lg.jp/295476.htm に掲載の「土石流の発生・到 達するおそれのある現場での工事における安全対策について」に基づいて実施すること。

(掲示板の設置)

本工事は「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく工事であり、標示板の工事種類について「国土強靱化対策工事(5か年加速化対策)」と標記すること。 標示板の記載及び記載内容については、道路・河川工事現場における標示施設の設置の徹底について(令和3年6月1日付け国土交通省大臣官房技術調査課建設システム管理企画室長事務連絡)を参考にすること。

⑪ (下請関係の適正化)

下請関係の適正化については、https://www.water.tottori.jp/1833.htm を参照の上労働者の福祉向上に務めること。

(快適トイレの試行)

1. 内容

受注者は、現場に以下の(1)~(11)の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。

(12)~(17)については、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

- (1) 洋式便器
- (2) 水洗及び簡易水洗機能(し尿処理装置付き含む)
- (3) 臭い逆流防止機能
- (4) 容易に開かない施錠機能
- (5) 照明設備
- (6) 衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等(耐荷重を5kg 以上とする)

【付属品として備えるもの】

- (7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- (8) 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫
- (9) サニタリーボックス (女性用トイレに必ず設置)
- (10) 鏡と手洗器
- (11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

- (12) 室内寸法900×900mm 以上(面積ではない)
- (13) 擬音装置(機能を含む)
- (14) 着替え台
- (15) 臭気対策機能の多重化

その

他

- (16) 室内温度の調整が可能な設備
- (17) 小物置き場 (トイレットペーパー予備置き場等)
- 2. 快適トイレに要する費用【災害復旧工事以外】 (該当しない場合は削除)

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記1の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。

【快適トイレに求める機能】(1)~(6)及び【付属品として備えるもの】(7)~(11)の費用については、従来品相当を差し引いた後、51,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ2基/工事(施工箇所)※までとする。

また、運搬・設置費は共通仮設費(率)に含むものとし、2基/工事(施工箇所)※より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、現場環境改善費(率)を想定しており、別途計上は行わない。

- ※「施工箇所が点在する工事の積算」適用工事や施工延長が長いなどのトイレを施工箇所に応じて複数設置する必要性が認められる工事については、「工事」を「施工箇所」に読み替え、個々の施工箇所で計上できるものとする。
- 2. 快適トイレに要する費用【災害復旧工事】 (該当しない場合は削除)

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記1の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。

【快適トイレに求める機能】 (1) \sim (6) 及び【付属品として備えるもの】 (7) \sim (11) の費用については、従来品相当を差し引いた後、51,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ2基/工事(施工箇所)※までとする。

また、運搬・設置費は共通仮設費(率)に含むものとし、2基/工事(施工箇所)※より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、別途計上は行わない。

- ※「施工箇所が点在する工事の積算」適用工事や施工延長が長いなどのトイレを施工箇所に応じて複数設置する必要性が認められる工事については、「工事」を「施工箇所」に読み替え、個々の施工箇所で計上できるものとする。
- 3. その他

快適トイレの手配が困難の場合は、監督員と協議の上、試行の対象外とする。

(19) (工場製作材料の発注時期)

原材費の全ての材料及び購入品費の一部の材料(特注グレーチング)については、令和8年3月31日までに発注すること。

の他

そ

1 千代川水系における工事の実施にあたっては、「千代川水系における汚濁防止対策申し合わせ(R6.1以降適用千 代川漁業対策協議会)」に基づき以下の事項を遵守し、汚濁等の防止に努めること。

また、「具体的で詳細な濁水対策」を施工計画書に明記するとともに、実際に作業を行う機械のオペレーターをはじめとする全ての現場作業員に対して、新規入場者教育や毎日の朝礼等の機会に「具体的で詳細な濁水対策の行い方」を指導するなど、積極的な濁水対策を徹底すること。

- ア 受注者は、汚濁防止 (仮設足場等の設置を含む) に最善の注意を払い工事を行うこと。施工にあたっては、「ク 留意事項」を参照し、汚濁防止対策を徹底すること。
- イ 汚濁防止等の対策は、千代川漁業対策協議会で協議の上合意されたものであり、汚濁防止対策の変更及び工 期延長の恐れが生じた場合は、できる限り早い時期に監督員に報告し、指示を受けること。
- ウ 汚濁防止施設等が設置された時点で、監督員の確認を受けること。また、撤去時においては残骸等がないよ うにすること。
- エ 汚濁を生じる恐れのある仮締切の設置・撤去、瀬替や川替など河床掘削時は、監督員の立会を求めること。 必要に応じて千代川漁業協同組合と協議すること。
- オ 千代川漁業対策協議会において現地立会が必要と認められた箇所については、千代川漁業協同組合と発注者で現地確認を行い、問題が認められた場合には双方協議することとしているので、工事着手前には監督員に確認すること。
- カ 大型土のうを設置する場合の番号の色は(黒)とする。大型土のうは、設置及び撤去後の数量が分かるように管理すること。
- キ 千代川水系については、毎年2月下旬~3月中旬にはやまめ成魚、4月下旬~5月中旬には鮎苗の放流、7月上旬には、やまめ、いわなの稚魚の放流が予定されており、放流日(1日程度)の前後の期間(10日程度)は、汚濁等を流出させる工事は実施しないこと。やむを得ない事情により作業を行う場合は、汚濁防止対策について千代川漁業協同組合と連絡調整を行ったうえで細心の注意を払い作業を行うこと。

なお、稚魚放流等の詳細な日程については、監督員に確認すること。

ク 留意事項

河床掘削関係	(1)河床掘削する際は、額縁(がくぶち)掘削とすること。ただし、 川幅が狭い等、額縁掘削ができない場合は、沈砂池を設けるなどの濁水対策を講 じたうえで全面掘削を行うこと。 (2)発生した玉石(概ね 20 c m以上)は、残土処分しないで現地又は同一河川に戻 すこととし、河床(水のあるところ)に並べるか、護岸の根に寄せ石を行い、魚 の生息・休憩場所の保全に努めること。
石積工関係	(1) 石積工の石材を現地採取する場合は、その代替となる石材を近くの中州や瀬替えにより掘り起こすなどして調達し、河床表面に敷き並べること。
仮設道路関係	(1) 河川内に築造する仮設道路の盛土材は真砂土でなく現地河床材を使用すること。 (2) 川を横断するための仮設道路については、ヒューム管上に盛土するのが一般的であるが、濁りを減らすために、H鋼と鉄板を利用した簡易な架橋工法も検討してみること。 (3) 仮設道路を新設する場合、道路法面や路面から流出する濁水について対策を講じること。
土のう関係	(1)河川内に仮設する土のう袋の中詰土は、真砂土でなく現地河床材を使用すること。 (2)河川内で土のうを使用する場合は、土のうに番号(黒色)を打ち、設置時及び土のう撤去時に数量管理(写真管理)を行い、全数撤去を確認すること。また、流出防止のため、必要に応じてロープ等で連結すること。 (3)土のうが流出した場合は、下流を探し全数回収するとともに、全数回収できたことを証明する資料を監督員に提出すること。
沈砂池関係	(1)原則、沈砂池の底にブルーシートは敷かないこと。(2)沈砂池に堆積したドロは、定期的に除去すること。(3)高水敷が広い場合は、沈砂池は高水敷を掘削する方法を検討すること。(4)沈砂池は、濁りの程度や湧水量に見合った大きさ、基数(連数)とすること。効果が不十分な場合は、増設等を行うこと。(5)ノッチタンクについても、効果が不十分な場合は、容量を大きくする又は基数を増やす等、効果を見ながら対応すること。

- 2 本工事は、河床の改変を伴う工事であり、以下のとおり千代川漁協による完成前確認を行うこととしているので、 検査希望日を1週間前までに監督員へ連絡すること。
 - 1)確認時期
 - ・工事完了前の河床整理が概ね完了した時点。ただし、完成確認時の指摘等に対応できるようバックホウ等が現地にある時期とすること。
 - 2)確認事項
 - <河床状況>
 - ・玉石をみお筋に並べたり、水中の護岸基礎部の保護を兼ねた寄せ石を行う等、魚類への配慮がなされているか。
 - ・平滑な河床にせず、みお筋を復元する等、着手前の河床が復元されているか。
 - <仮設材(大型土のう等)等の撤去>
 - ・仮設材(大型土のう等)が全て撤去されているか。
 - ・設置時及び撤去時数量の管理資料 (黒色番号入り空袋写真等)
 - <工事資材や発生したゴミ等の撤去>
 - ・工事資材やゴミ等が河川内に残されていないか。

※ 明示する項目を 部分に記入または追記し、不要部分は一で削除して使用すること。

千代川

水系に

おける

濁水

防

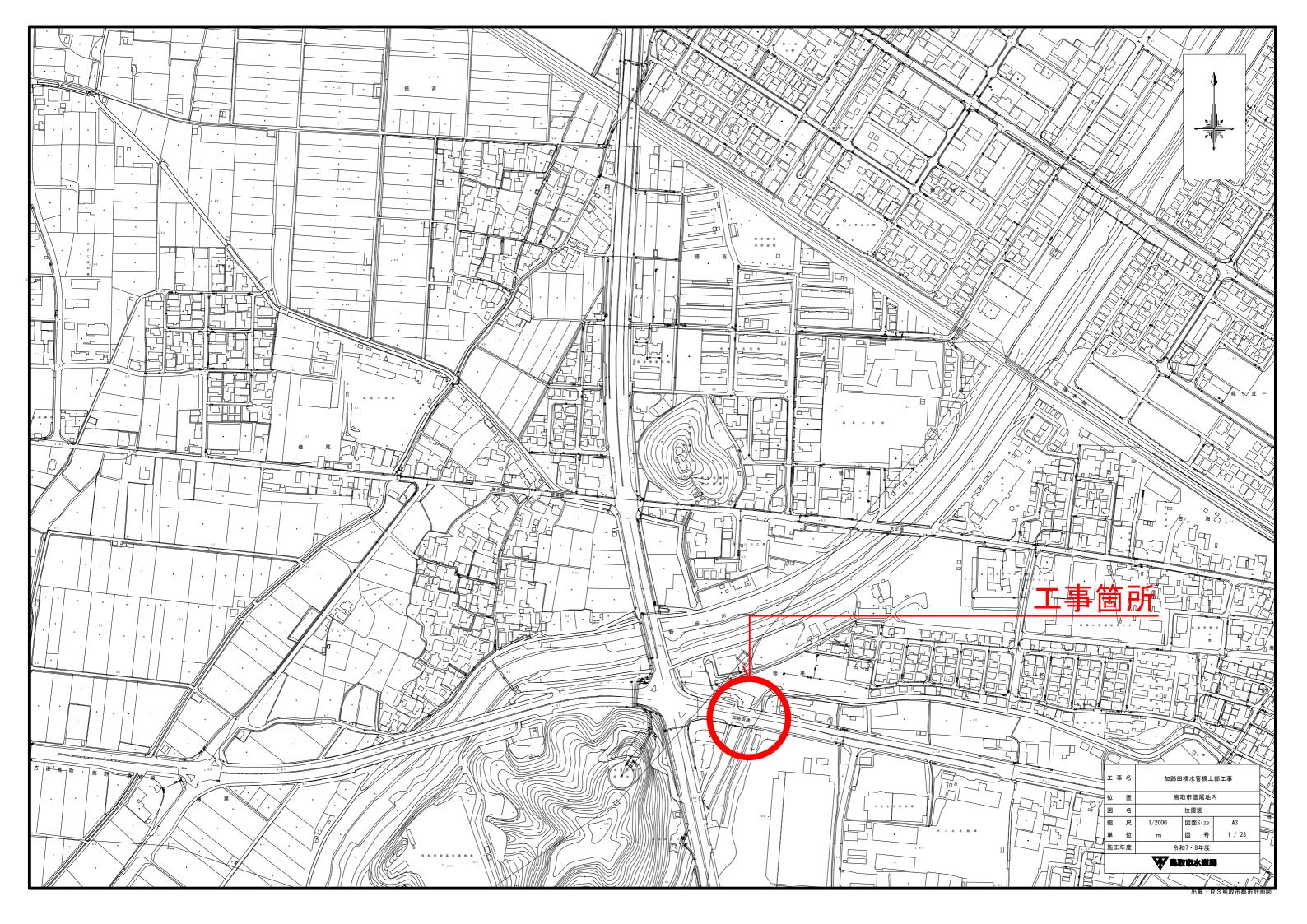
止 対

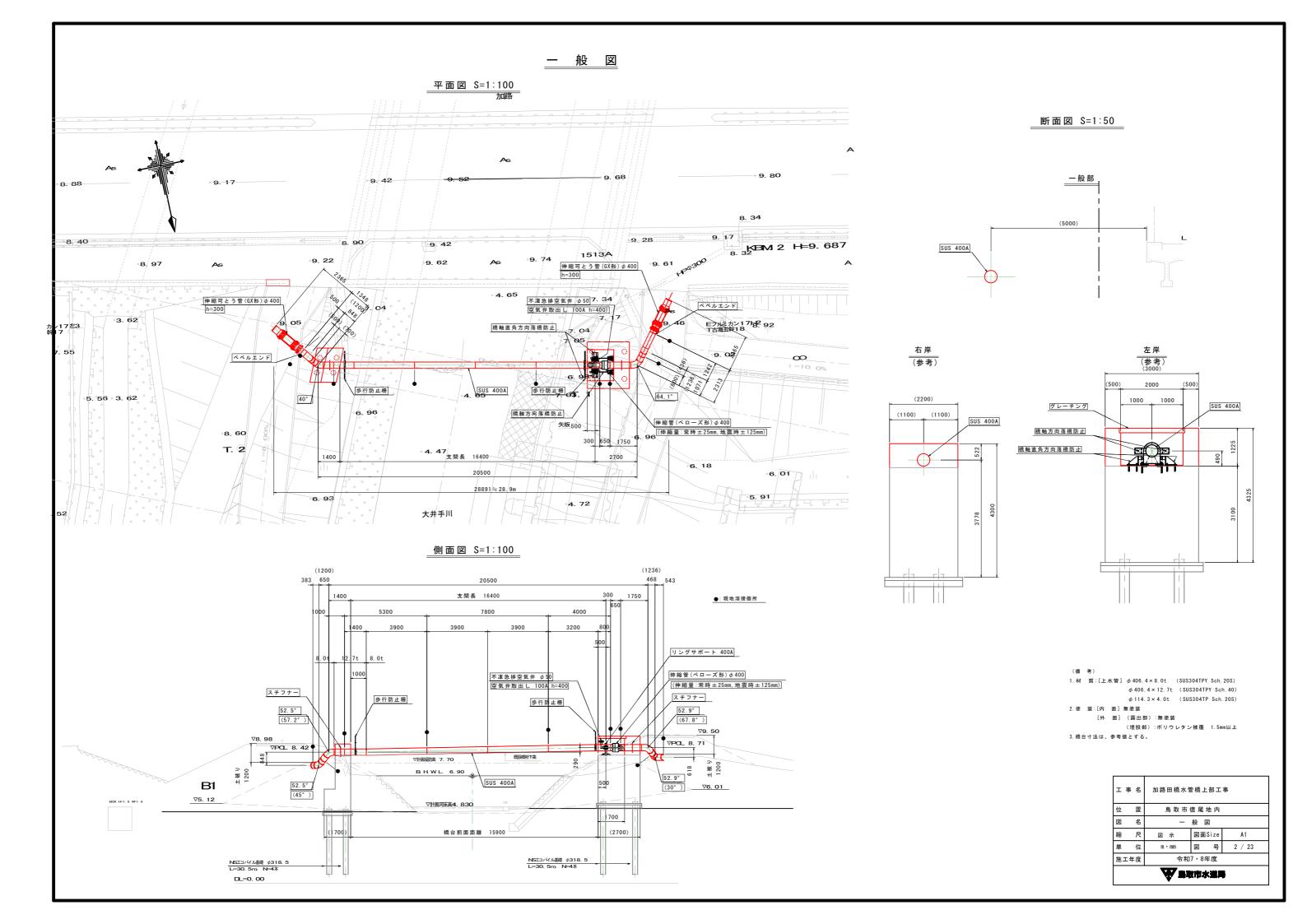
策

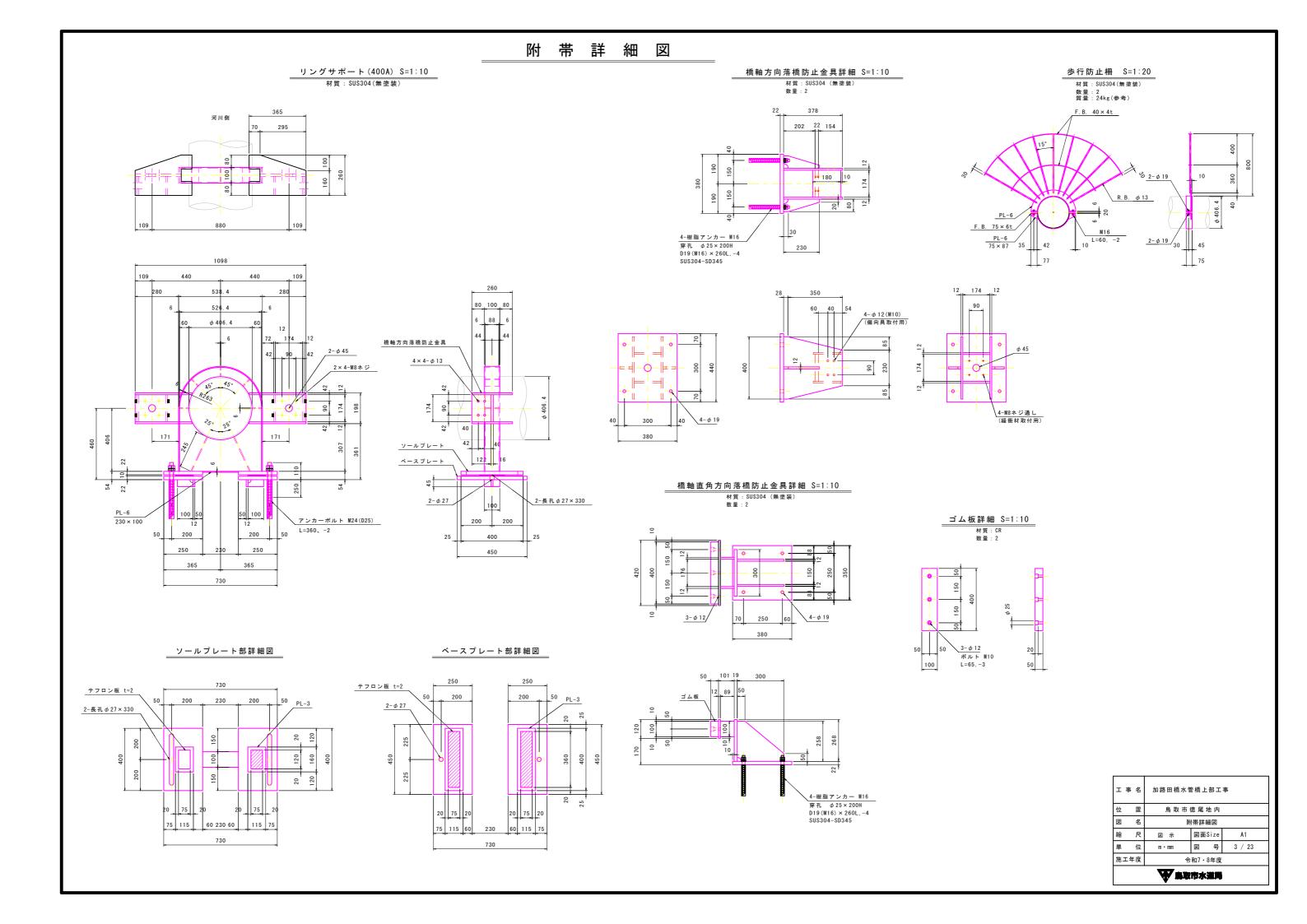
加路田橋水管橋上部工事

図面目録

図 号	図 名	備	考
1	位置図		
2	一般図		
3	附帯詳細図		
4	架設要領図(その1)(参考)		
5	架設要領図(その2)(参考)		
6	水管橋下部工計画平面図		
7	橋梁一般図		
8	座標図		
9	A1橋台構造図		
10	A2橋台構造図		
11	A1橋台配筋図(その1)		
12	A1橋台配筋図(その2)		
13	A2橋台配筋図(その1)		
14	A2橋台配筋図(その2)		
15	施工計画図(進入路)(その1)		
16	施工計画図(進入路)(その2)		
17	施工計画図(その1)(参考)		
18	施工計画図(その2)(参考)		
19	施工計画図(その3)(参考)		
20	施工計画図(その4)(参考)		
21	施工計画図(その5)(参考)		
22	取付工構造図(その1)		
23	取付工構造図(その2)		

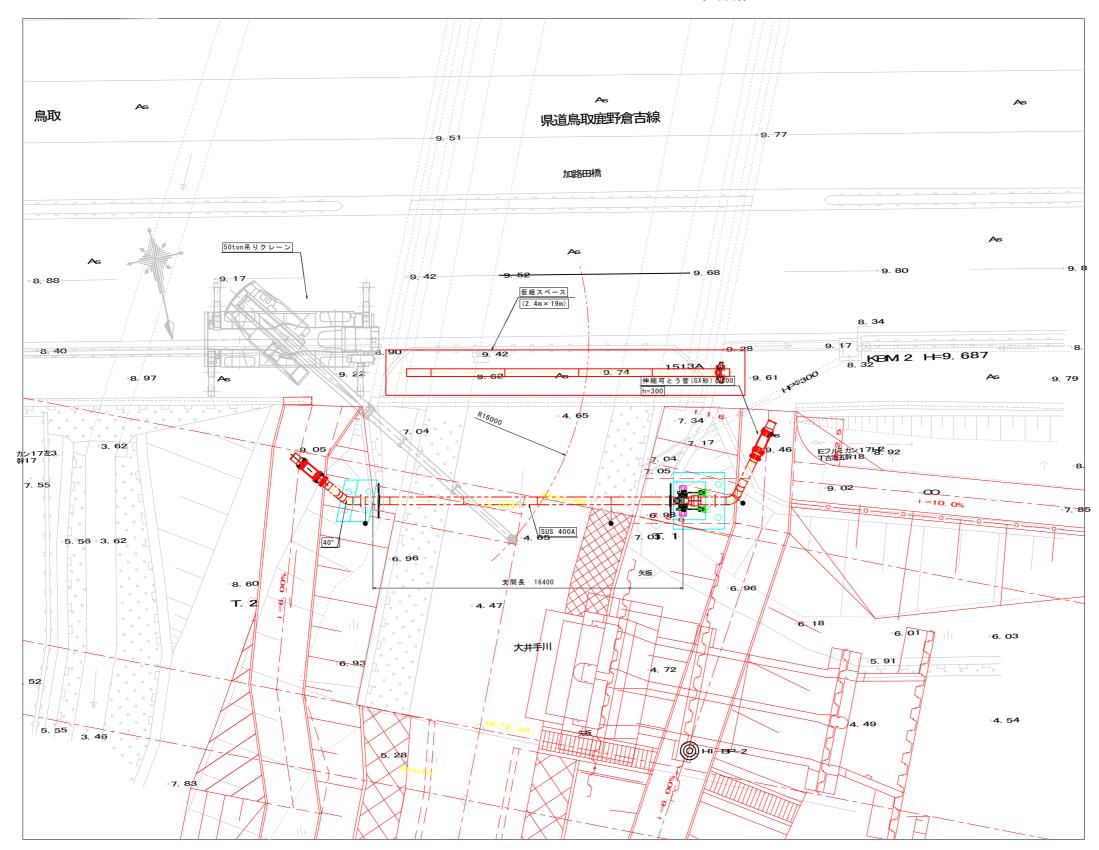






架設要領図(その1)(参考)

平面図 S=1:100



フック重量(25t用) 0.30t 管重量 1.60t 1.90t

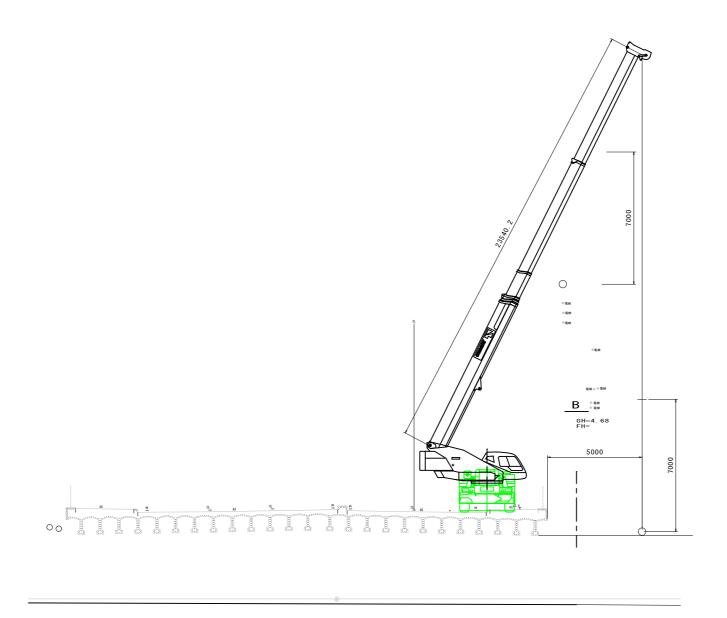
50ton吊 りラフタークレーン アウトリガー中間張出 5.5m(側方)

ブーム長 作業半径	28.6m	34.9m	38.05m	41. 2m
9. Om	10.2t	10.0t	9. Ot	7. 0t
10. Om	8.35t	8.7t	8.5t	7. 0t
11. Om	7. 0t	7.3t	7. 6t	6.8t
12. Om	5.85t	6.3t	6.5t	6. 4t
13. Om	5. 0t	5.5t	5.6t	5. 6t
14. Om	4. 2t	4.7t	4.9t	5. 0t
16. Om	3.0t	3.5t	3.7t	3.8t
18. Om	2. 1t	2.6t	2. 75t	2. 9t
20. Om	1.35t	1.9t	2.05t	2. 25t

I	事 名	加路田橋水管橋上部工事						
位	叫	鳥取市徳尾地内						
図	名	架設要領図(その1)(参考)						
縮	尺	S=1:100	図面Size	A1				
単	位	m·mm 図 号 4 / 23						
施工年度 令和7・8年度								
	又 島取市水道局							

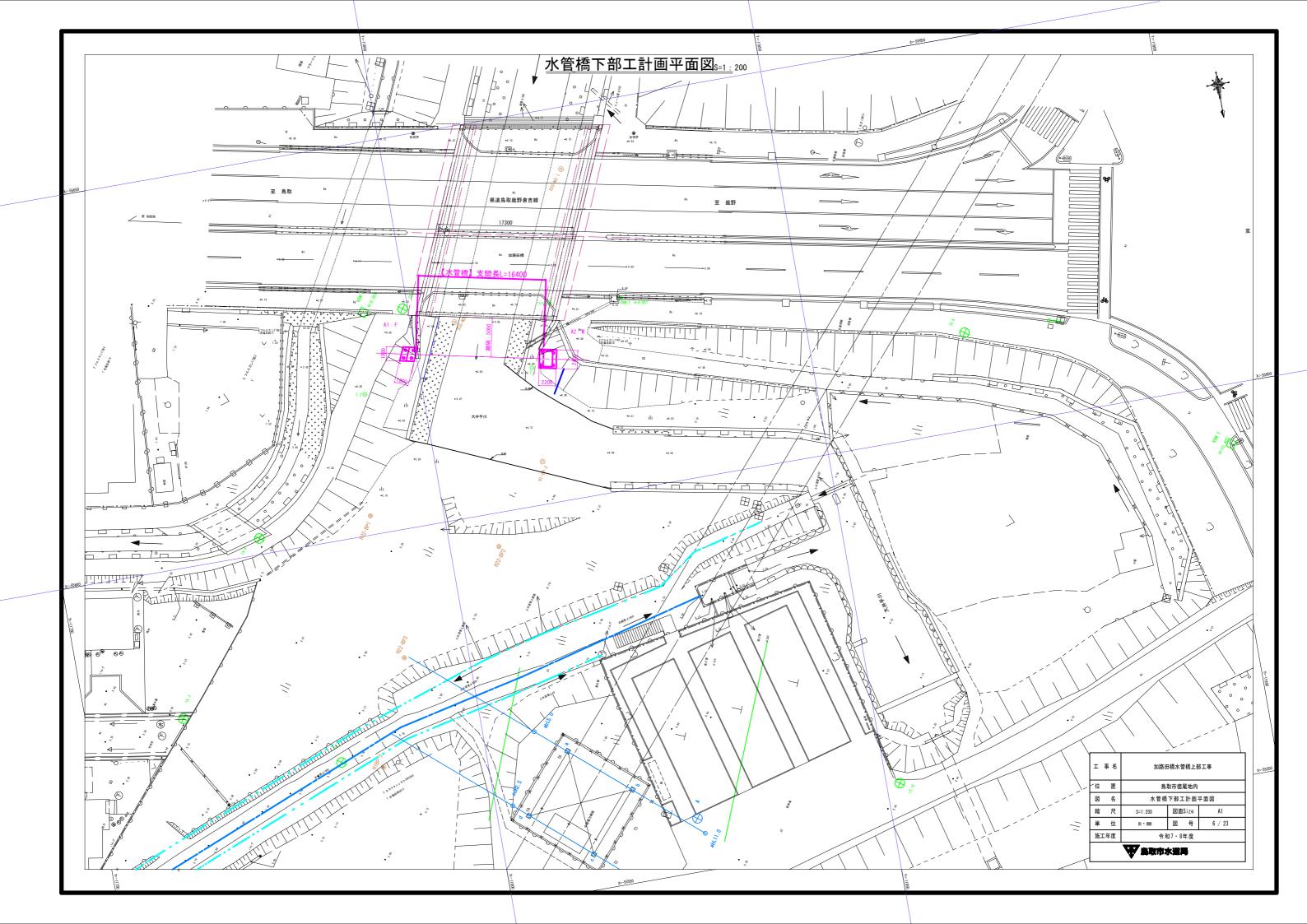
架設要領図(その2)(参考)

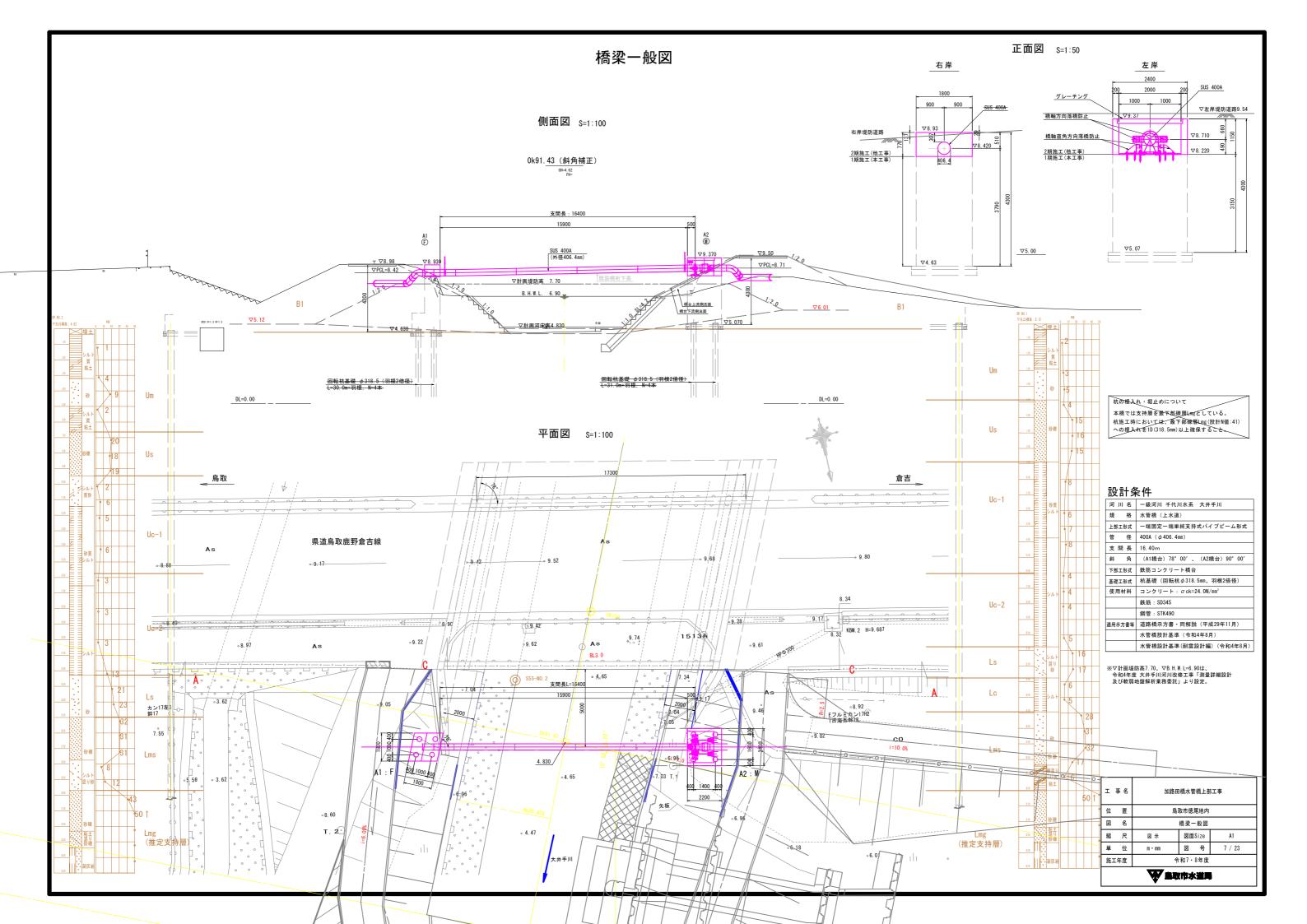
<u>断面図</u> S=1:100

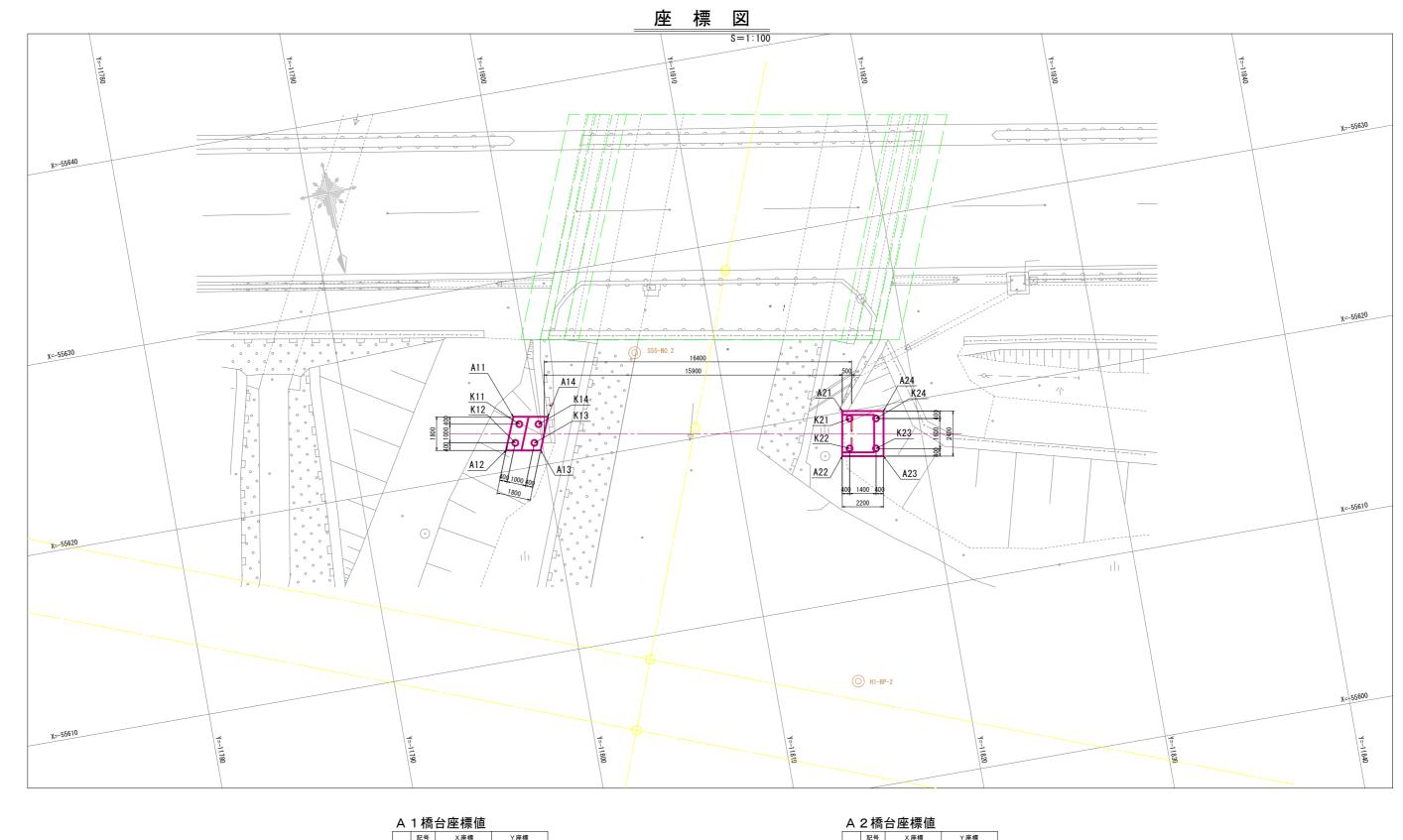


DL=0.000 ______ DL=0.000 _____

ΙĄ	医名	加路田橋水管橋上部工事					
	- 1	加时山恒小官恒工印工事					
位	置	鳥取市徳尾地内					
図	名	架設要領図(その2)(参考)					
縮	尺	S=1:100	図面Size	A1			
単	位	m·mm 図 号 5 / 23					
施工	年度	令和7・8年度					
W 电影索卡谱器							



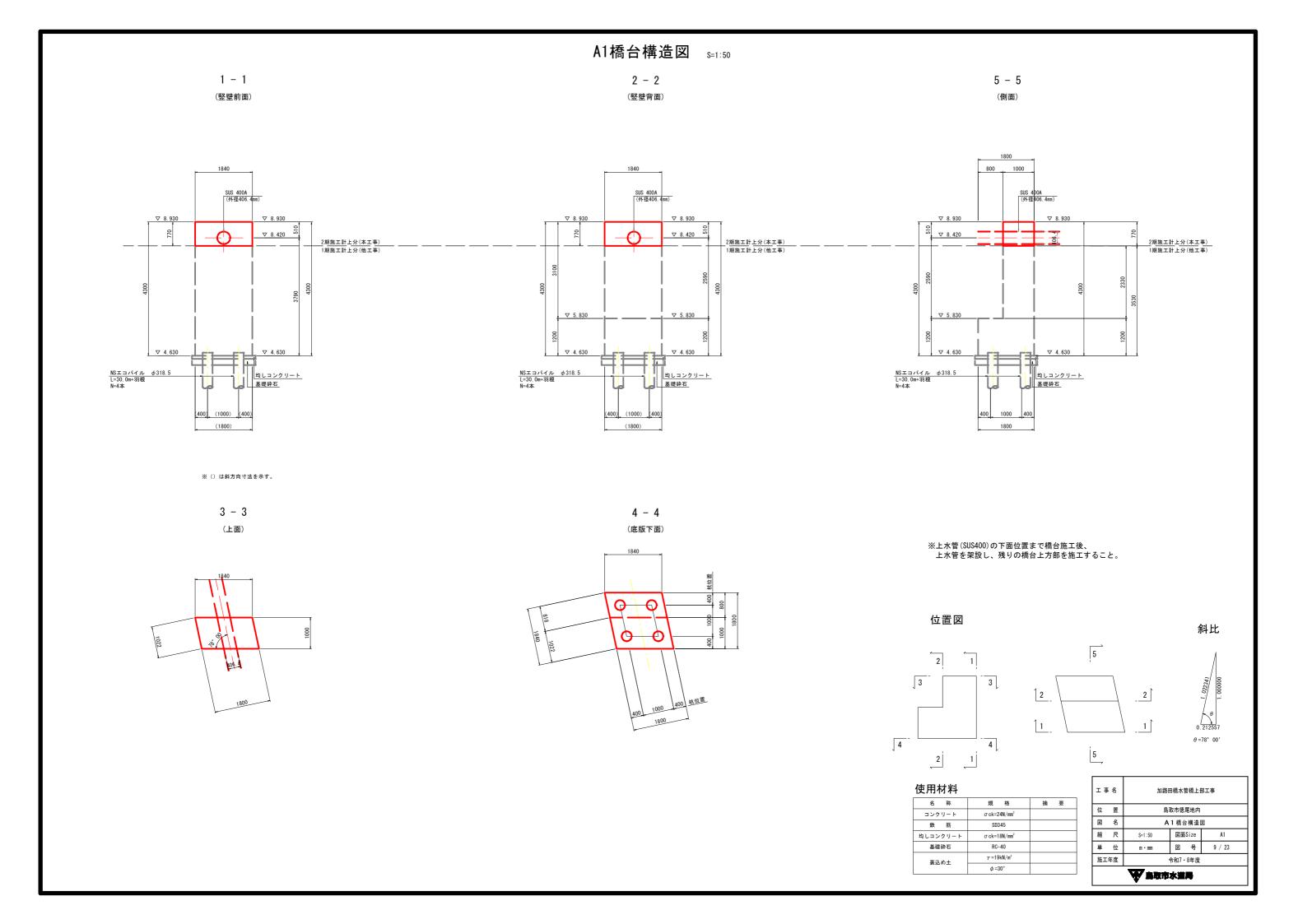


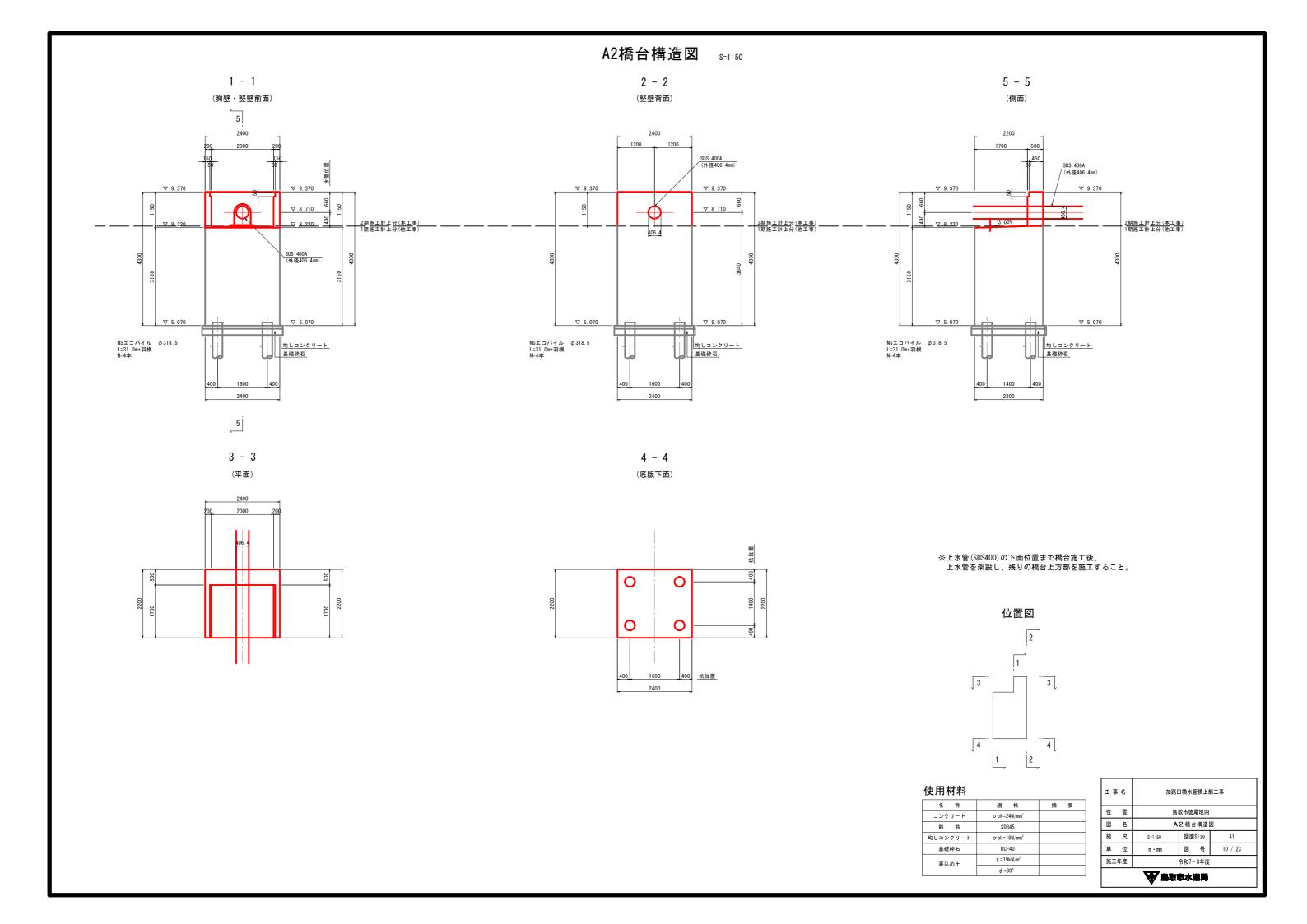


記号	X座標	Y座標
A11	-55622. 818	-11798. 719
A12	-55621.111	-11798. 030
A13	-55620. 792	-11799. 842
A14	-55622. 498	-11800. 531
K11	-55622. 367	-11798. 969
K12	-55621.419	-11798. 586
K13	-55621. 242	-11799. 592
K14	-55622. 190	-11799. 975
	A11 A12 A13 A14 K11 K12 K13	A11 -55622.818 A12 -55621.111 A13 -55620.792 A14 -55622.498 K11 -55622.367 K12 -55621.419 K13 -55621.242

	記号	X座標	Y座標					
4-	A21	-55620.066	-11816.053					
躯	A22	-55617. 702	-11815. 637					
体	A23	-55617. 320	-11817. 803					
rr	A24	-55619. 684	-11818. 220					
	K21	-55619. 602	-11816.378					
44	K22	-55618.027	-11816.100					
杭	K23	-55617. 783	-11817. 479					
	K24	-55619.359	-11817.757					

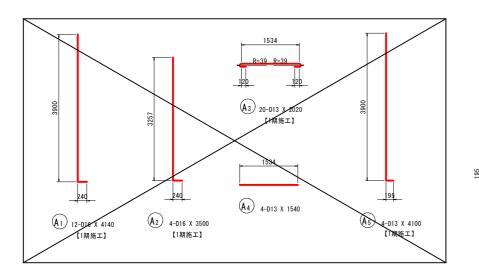
I	事名	加路田橋水管橋上部工事						
位	置	鳥	取市徳尾地内					
図	名	座標図						
縮	尺	S=1:100	図面Size	A1				
単	位	m·mm 図 号 8 / 23						
施工	施工年度 令和7・8年度							
	一 島取市水道周							

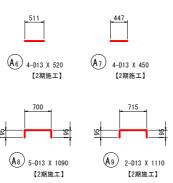


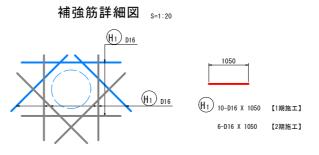


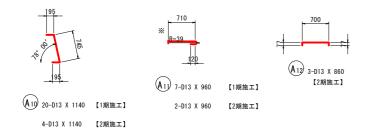
A1橋台配筋図(その1) S=1:50 2-2(竪壁前面) 3-3(竪壁背面) 1-1 (断面) (A4) D13 (A3) D13 A8 D13 (A3) D13 A 12 D13 A 12 D13 (A12) (A8) (B12) (A13) (▲8 D13 ※2期施工計上分(本工事) A8 D13 ※2期施工計上分(本工事) ※2期施工計上分(本工事) ※1期施工計上分(他工事) ※1期施工では露出鉄筋に常温亜鉛メッキ等の防錆処理を行うこと。 ※1期施工計上分(他工事) ※1期施工計上分(他工事) (A1) D16 (A2) D16 (A1) D13 (F1) D16 A1 D16 (A₁) _{D16} (F3) D16 (F₉) _{D13} F8 D16 (F₈) _{D16} (F₈) _{D16} F8 D16 F5 D13 F7 D16 F7 D16 F1 D16 F7 D16 4x250= 150 150 1000 20 4-4(天端面) 5-5 (竪壁断面) 6-6(底版上面) 7-7(底版下面) F6 D13 F6 D13 A4 D13 F₁ D16 (F4) D16 A9 D13 A 10 D13 F₂ D₁₆ F3 D16 (A₅) _{D13} (A₅) _{D13} (A3) D1: F5 113 3x250= 9 122 232 750 232 128 18 3x250= 91 122 232 750 232 128 1840 かぶり詳細図 s=1:20 竪壁 底版 位置図 4 5 5 加路田橋水管橋上部工事 6 6 位 置 鳥取市徳尾地内 A1 橋台配筋図(その1) 図名 注)※印表記は機械式鉄筋定着工法を示す。 適用にあたっては下記の基準等を満足すること。 7 図面Size 図号 ・機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会) 令和7・8年度 なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて 定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

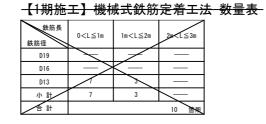
A1橋台配筋図(その2) S=1:50











【2期施工】機械式鉄筋定着工法 数量表

鉄筋長 鉄筋径	0 <l≦1m< td=""><td>1m<l≦2m< td=""><td>2m<l≦3m< td=""></l≦3m<></td></l≦2m<></td></l≦1m<>	1m <l≦2m< td=""><td>2m<l≦3m< td=""></l≦3m<></td></l≦2m<>	2m <l≦3m< td=""></l≦3m<>
D19			_
D16			
D13	2	_	_
小 計	2		
合 計			2 箇所

【1期施工】鉄筋質量表(SD345)

	1 29]	ᄣᅩᇪ	业人	切 貝 里	12 (00	070/	
種別	径	長さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘要
		(mm)		(kg/m)	(kg/本)	(kg)	
H 1	D16	1050	10	1.56	1.64	16	$ \longrightarrow $
						16	
A 1	D16	4140	12	1. 56	6.46	/78	l
A 2	D16	3500	4	1. 56	5. 46	22	l
A 3	D13	2020	20	0. 995	2.01	40	
A 5	D13	4100	4	0. 995	4.08	16	I
A 10	D13	1140	20	0. 995	1.18	23]
A 11	D13	960	X	0. 995	0.96	7	
						186	
				$\overline{}$			
F 1	D16	3100	6	1.56	4. 84	29	
F ₂	D16	3140	4	1.56	4.90	20	
F 3	D16	1980	6	1.56	3.09	19	
F 4	D16	2020	4	1.56	3.15	13	
F 5	D13	1540		0. 995	1.53	21	
F 6	D13	1220	/ 8	0. 995	1.2	10	[
F 7	D16	1540	6	1. 56	2.40	14	—
F 8	D16	1960	6	1. 56	3.06	18	J
F 9	D13	1060	3	0. 995	1.05	3	1
						147	
		/					
	\angle	合 計 D16		229 kg			
		D13		120 kg			
		総質量		349 kg			
/							

【2期施工】鉄筋質量表(SD345)

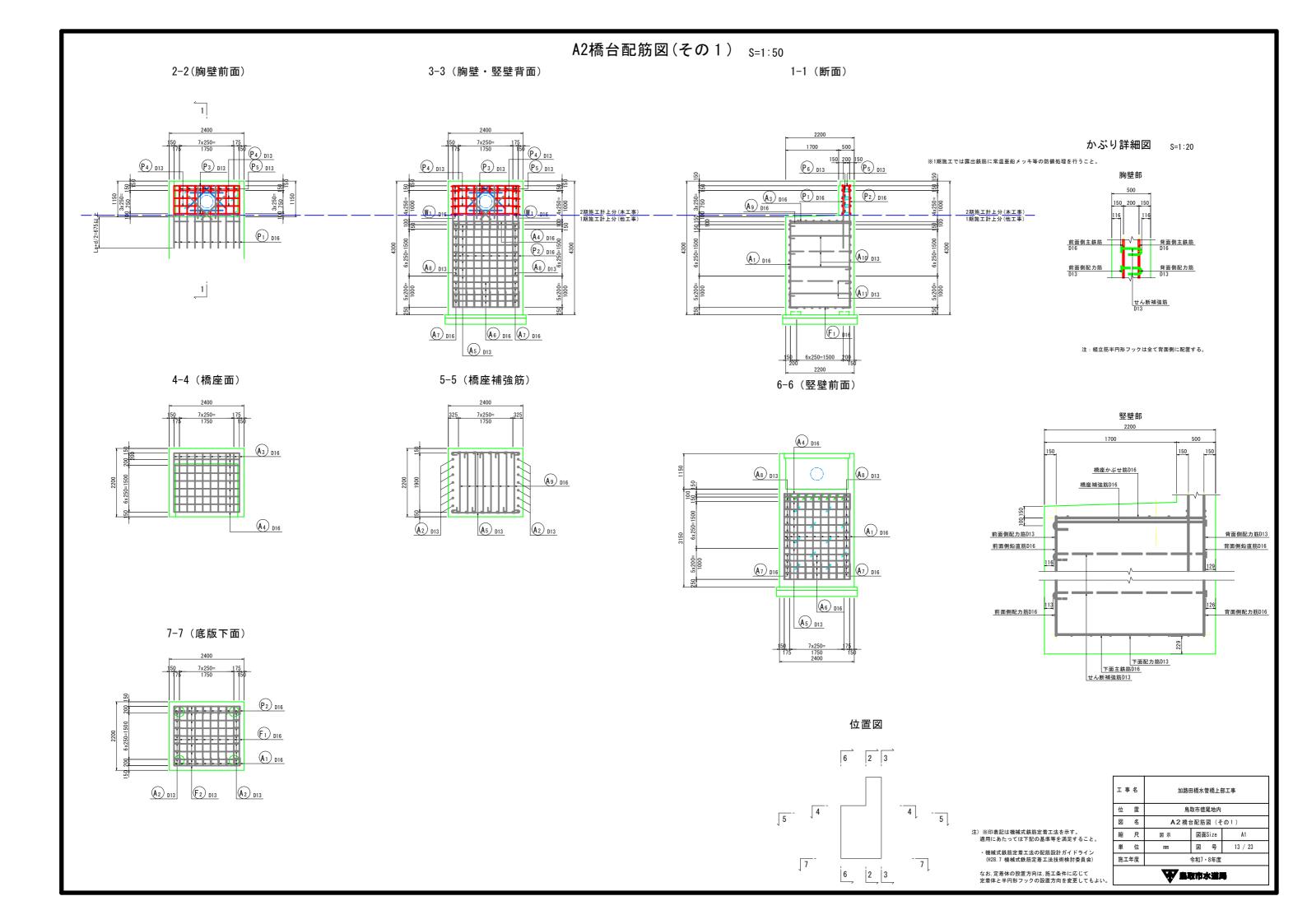
	- ///	<u> </u>	201		22 (0)	<u> </u>	
種別	径	長さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘要
		(mm)		(kg/m)	(kg/本)	(kg)	
H 1	D16	1050	6	1.56	1.64	10	
						10	
A 4	D13	1540	4	0. 995	1.53	6	
A 6	D13	520	4	0. 995	0.52	2	
A 7	D13	450	4	0. 995	0.45	2	
A 8	D13	1090	4	0. 995	1.08	4	
A 9	D13	1110	2	0. 995	1.10	2	
A 10	D13	1140	4	0. 995	1.13	5	J
A 11	D13	960	2	0. 995	0.96	2	ſ
A 12	D13	860	3	0. 995	0.86	3	
				•		26	
		合 計 D16		10 kg			
		D13		26 kg		•	
		総質量		36 kg			

※1期施工では露出鉄筋に常温亜鉛メッキ等の防錆処理を行うこと。

エキ	名	加路田	橋水管橋上部	『工事				
位	置	鳥	取市徳尾地内					
図	名	A1 橋台配筋図(その 2)						
縮	尺	S=1:50	図面Size	A1				
単	位	mm	図 号	12 / 23				
施工	施工年度 令和7・8年度							
	一							

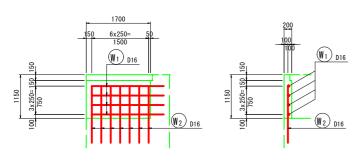
注)※印表記は機械式鉄筋定着工法を示す。 適用にあたっては下記の基準等を満足すること。 ・機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

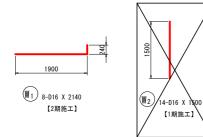
なお. 定着体の設置方向は. 施工条件に応じて 定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。



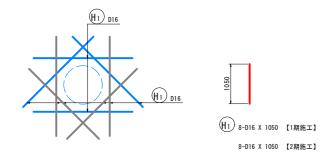
A2橋台配筋図(その2) _{S=1:50}

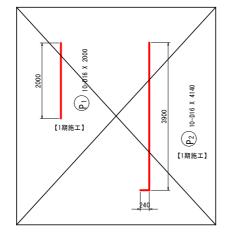
止壁部 (左右対称)

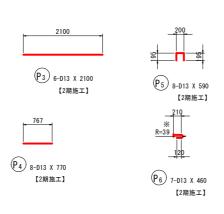


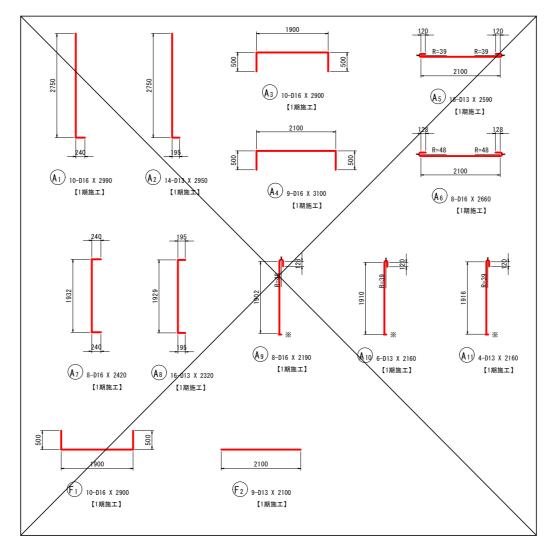


補強筋詳細図 s=1:20









【 1 期 施 工 】 鉄 筋 質 量 表 (SD345)

理 別 H 1	径 D16	長 さ (mm) 1050	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
P 1	D16		8	(kg/m)	(kg/本)	(kg)	/
P 1	D16	1050	8			(1/8/	
	$\overline{}$			1. 56	1. 64	13	1/
	$\overline{}$					13	
	D16	2000	10	1. 56	3. 12	3/	1
P 2	D16	4140	10	1. 56	6. 46	65	l
						96	
A 1	D16	2990	10	1. 56	4. 66	47	l
A 2	D13	2950	14	0. 995	2.94/	41	l
A 3	D16	2900	10	1. 56	4,62	45	
A 4	D16	3100)	1. 56	4.84	44	
A 5	D13	2590	16	0. 995	2. 58	41	
A 6	D16	2660	8	56	4. 15	33	
A 7	D16	2420	8	1.58	3. 78	30]
A 8	D13	2320	16	0. 995	2. 31	37	[
A 9	D16	2190	8	1.58	3. 42	27	1
A 10	D13	2160	6	0. 995	2. 15	13	1
A 11	D13	2160	4	0. 995	2. 15	9	1
						367	
			\angle				
F 1	D16	2900	10	1. 56	4. 52	45	
F ₂	D13	2100	9	0. 995	2. 09	19	
		/_				64	
W 2	D16	1500	14	1. 56	2. 34	33	- 1
	/	<u>/</u>				33	
	$-\!\!/-$						\
		合 計 D16		413 kg			\rightarrow
-/		D13		160 kg			$\overline{}$
/		総質量		573 kg			$\overline{}$
/							

【2期施工】鉄筋質量表(SD345)

	2 朔	他上』	环	切 貝 里	衣(3リ	343)	
種別	径	長さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘要
		(mm)		(kg/m)	(kg/本)	(kg)	
H 1	D16	1050	8	1. 56	1. 64	13	1
						13	
P 3	D13	2100	6	0. 995	2. 09	13	
P 4	D13	770	8	0. 995	0.77	6	
P 5	D13	590	8	0. 995	0. 59	5	П
P 6	D13	460	7	0. 995	0. 46	3	\bigcap
						27	
W 1	D16	2140	8	1. 56	3. 34	27	
						27	
		合 計 D16		40 kg			
		D13		27 kg			
		総質量		67 kg			

【1期施工】機械式鉄筋定着工法 数量表

鉄筋長 鉄筋径	0 <l≦1m< th=""><th>1m<l≦2m< th=""><th>2m L≦3m</th></l≦2m<></th></l≦1m<>	1m <l≦2m< th=""><th>2m L≦3m</th></l≦2m<>	2m L≦3m
D19	7	/	
D16	$ \;->$	<-	8
D13			10
小計		_ `	18
合計			18 南亚

【2期施工】機械式鉄筋定着工法 数量表

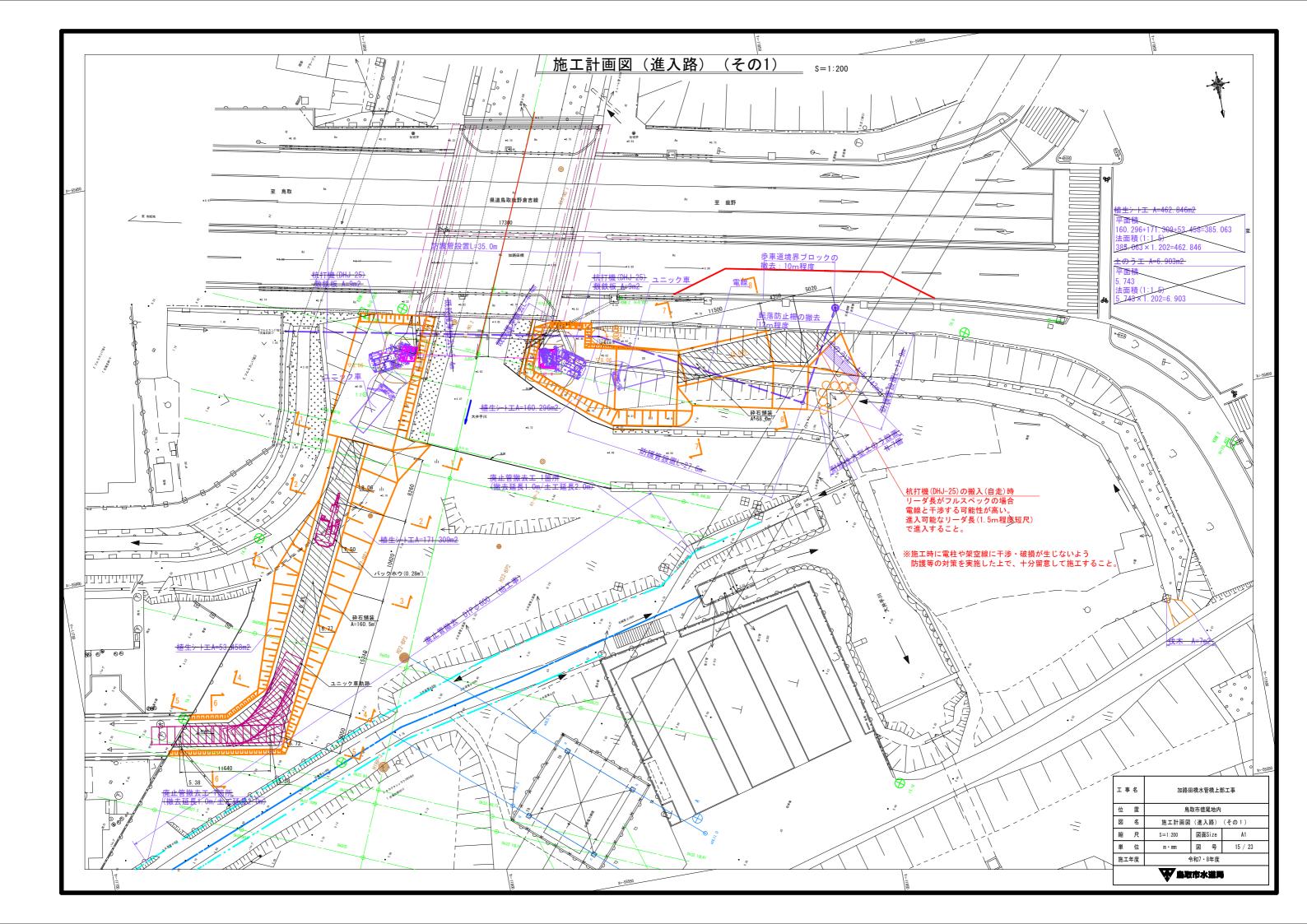
鉄筋長 鉄筋径	0 <l≦1m< th=""><th>1m<l≦2m< th=""><th>2m<l≦3m< th=""></l≦3m<></th></l≦2m<></th></l≦1m<>	1m <l≦2m< th=""><th>2m<l≦3m< th=""></l≦3m<></th></l≦2m<>	2m <l≦3m< th=""></l≦3m<>
D19			
D16	_	_	_
D13	7		_
小 計	7	_	_
숨 맑			7 笛所

※1期施工では露出鉄筋に常温亜鉛メッキ等の防錆処理を行うこと。

工事名		加路田橋水管橋上部工事				
位	置	鳥取市徳尾地内				
図名		A 2 橋台配筋図(その 2)				
縮	尺	図 示	図面Size	A1		
単	位	mm	図 号	14 / 23		
施工年度 令和7・8年度						
		Was	市水道月)		

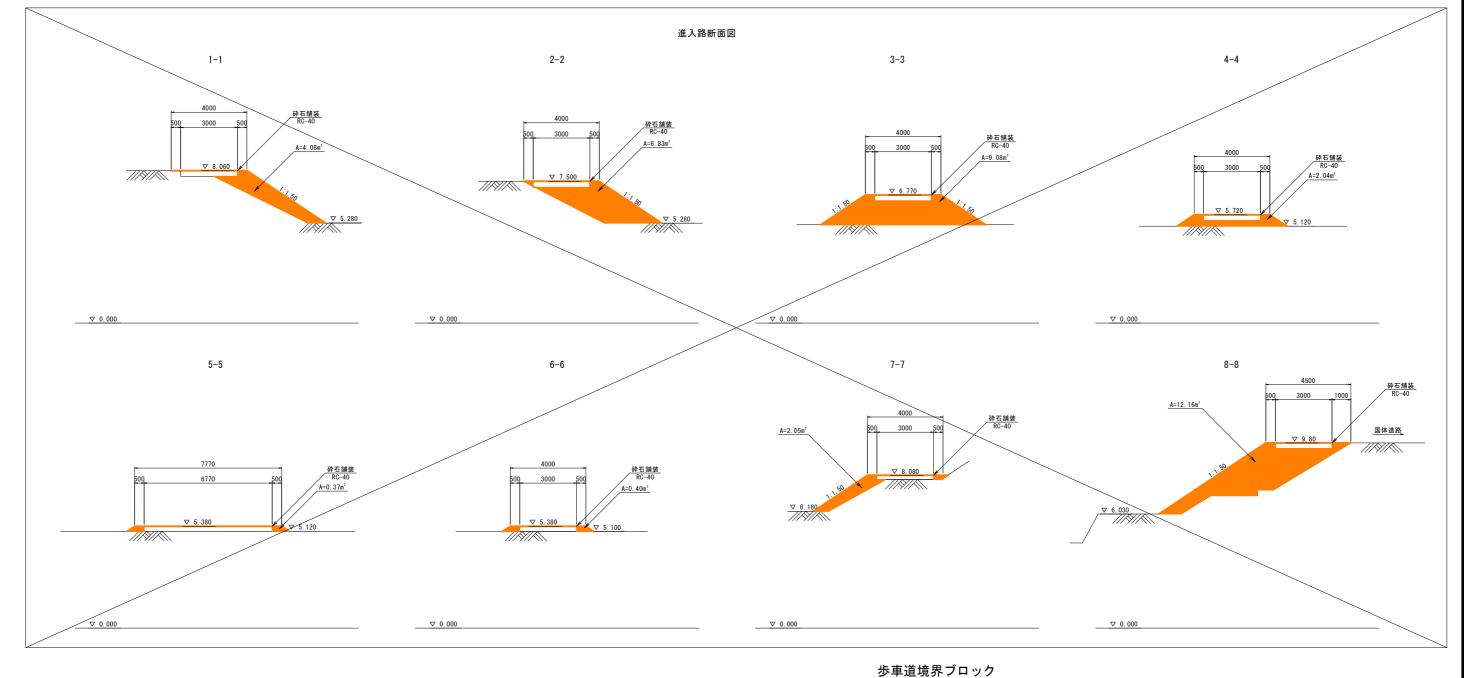
注)※印表記は機械式鉄筋定着工法を示す。 適用にあたっては下記の基準等を満足すること。 ・機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

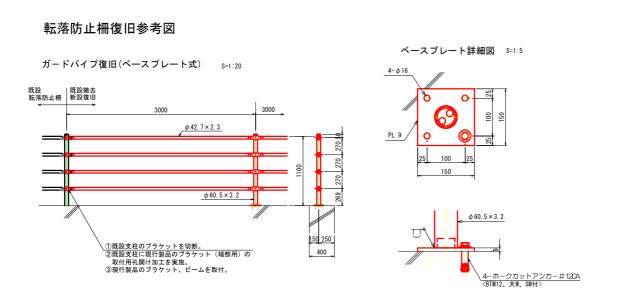
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて 定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

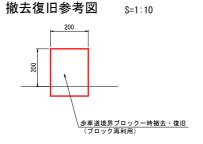


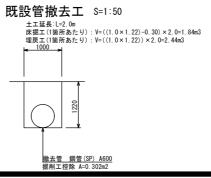
施工計画図(進入路) (その2)

S=1:100

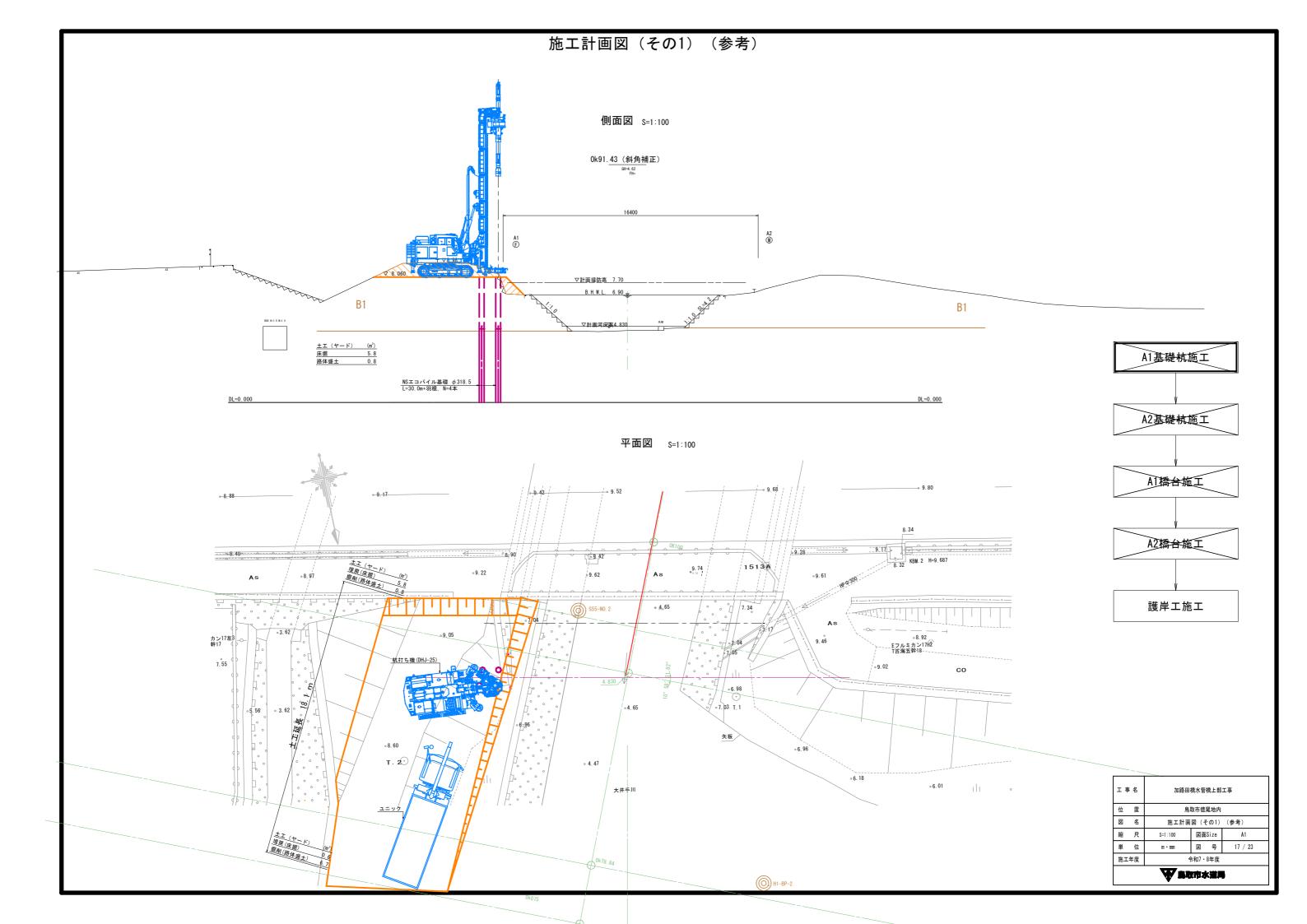


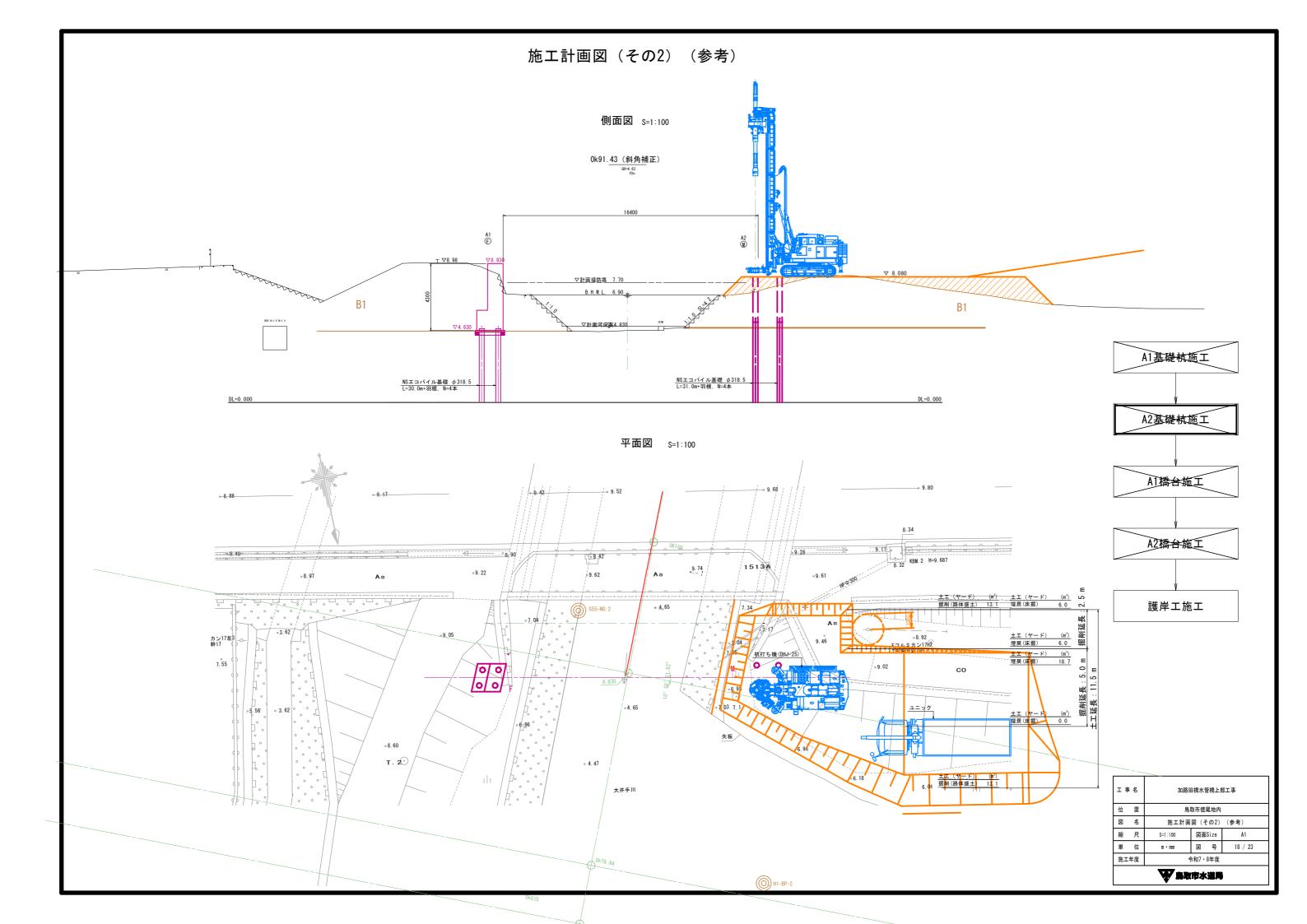


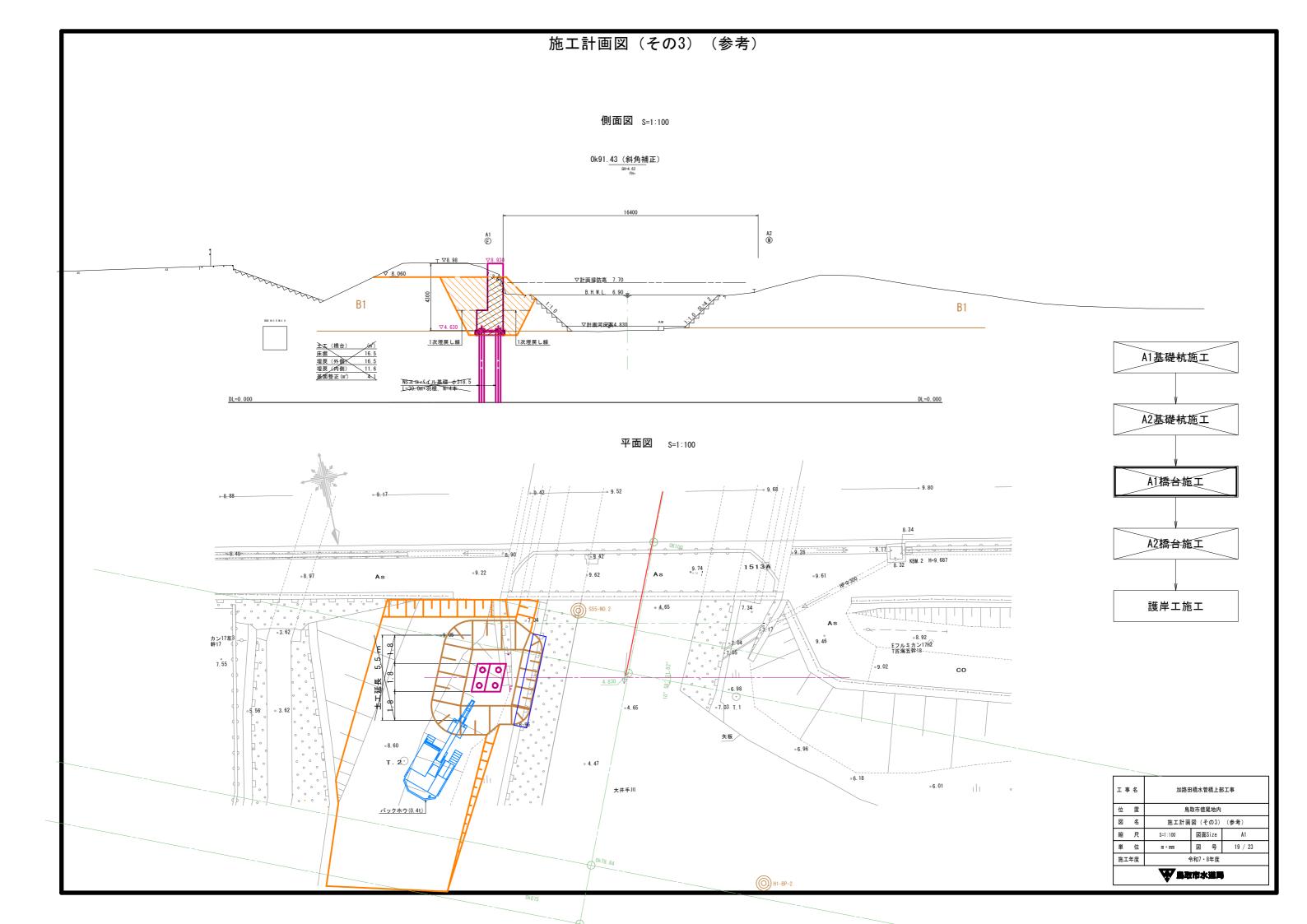


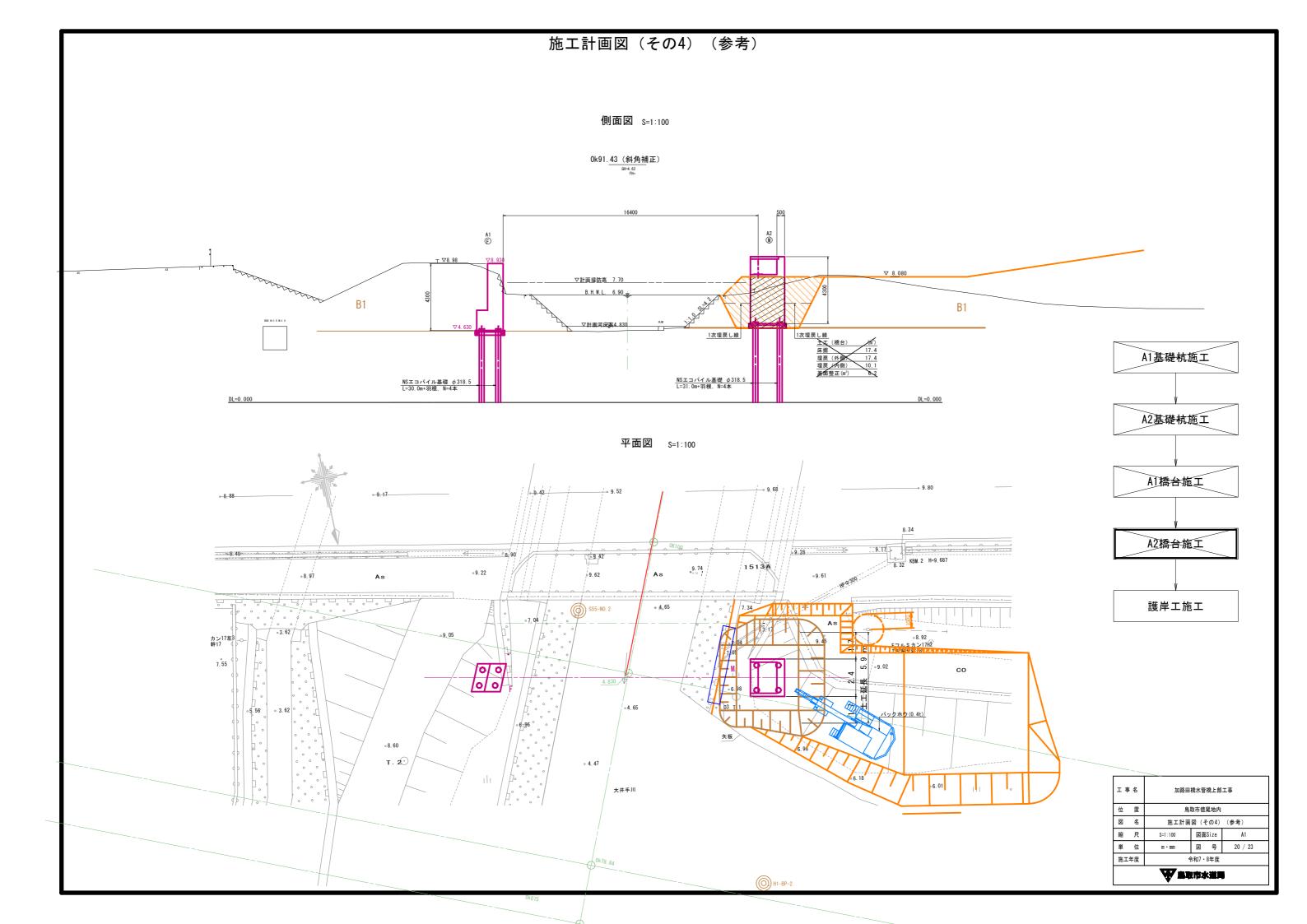


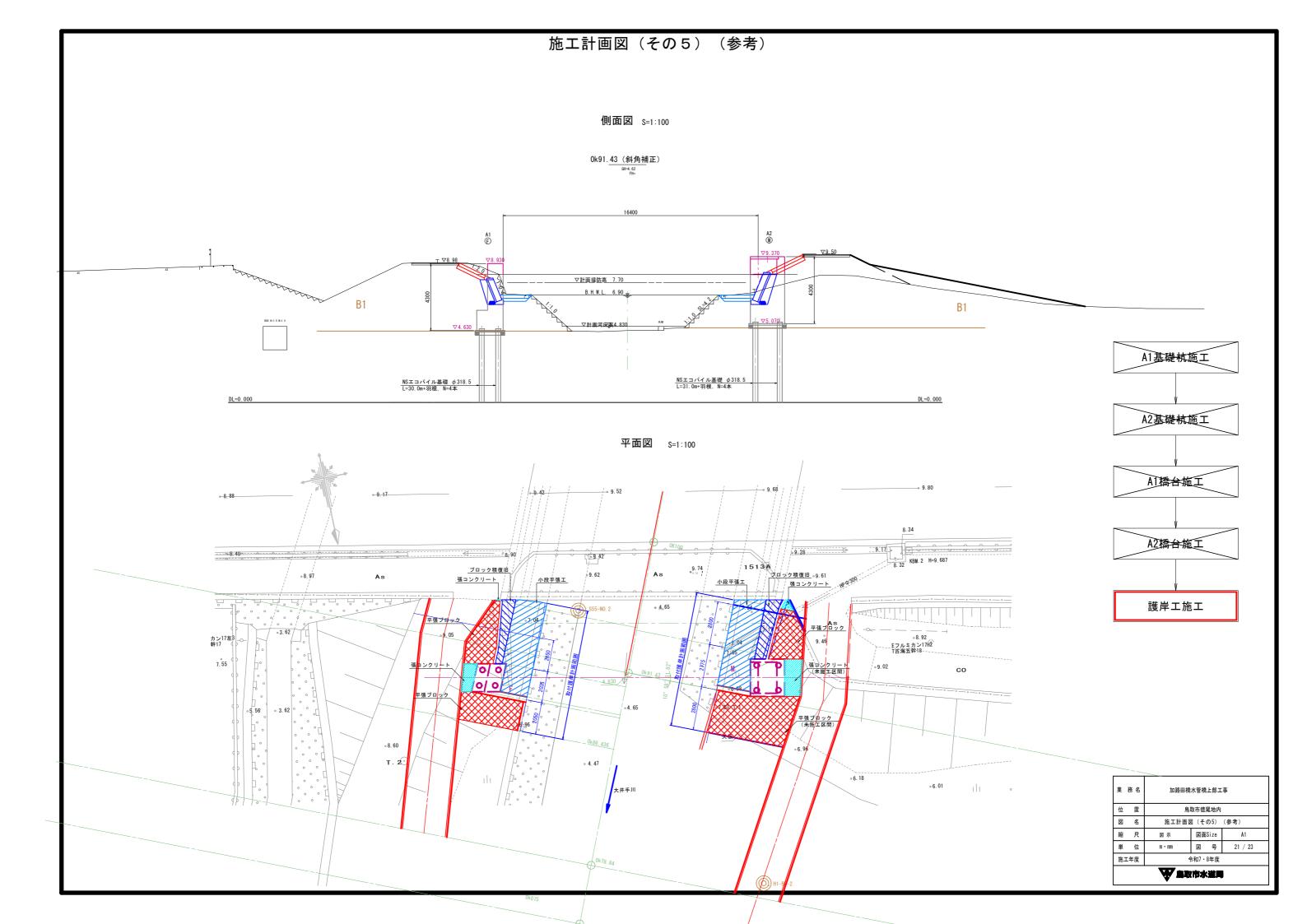
工事名		加路田橋水管橋上部工事			
位 置		鳥取市徳尾地内			
図	名	施工計画図(進入路)(その2)			
縮	尺	図 示	図面Size	A1	
単	位	m • mm	図 号	16 / 23	
施工	施工年度 令和7・8年度				
W 鳥取市水道馬					

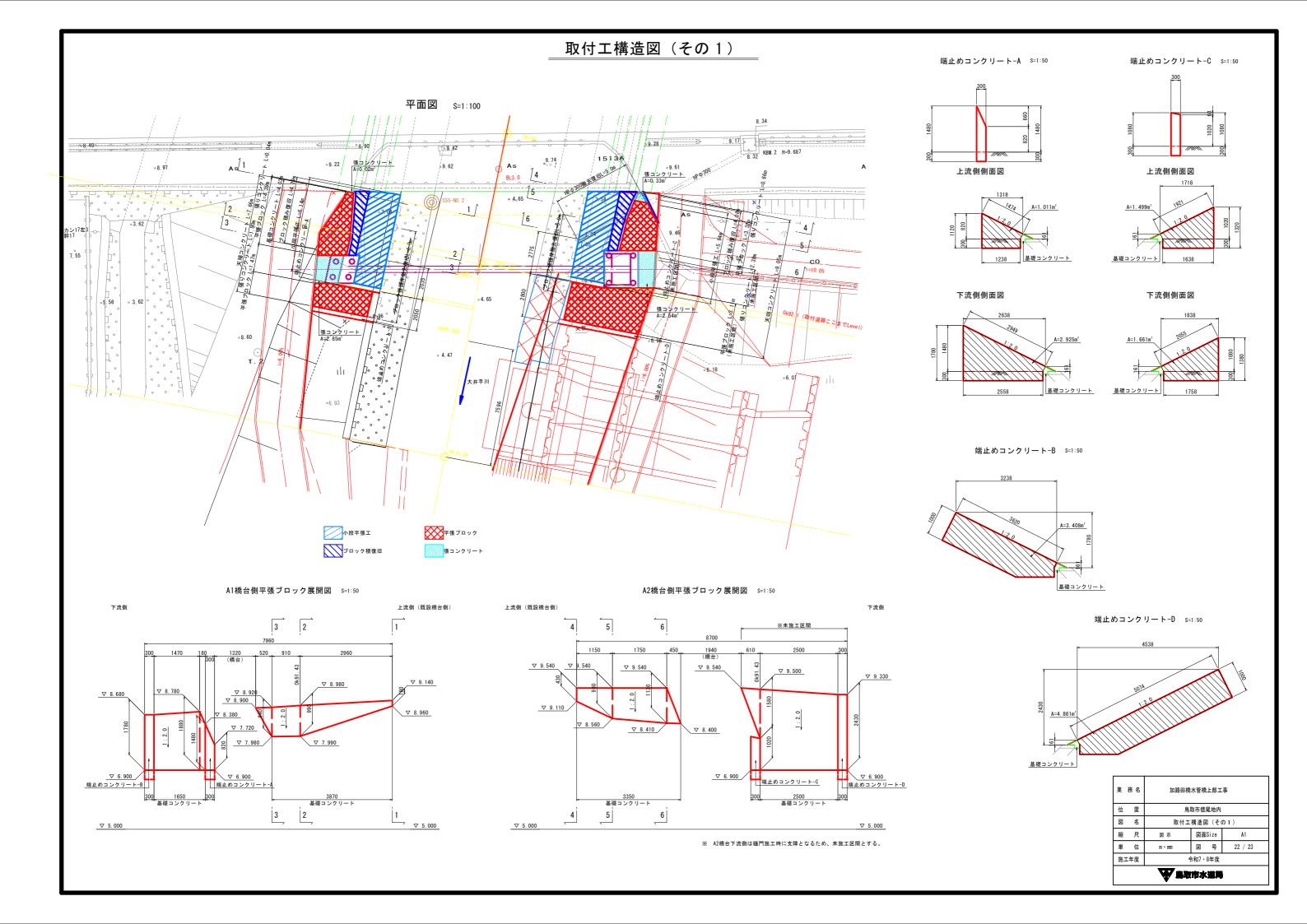




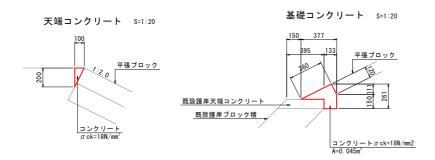




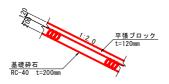




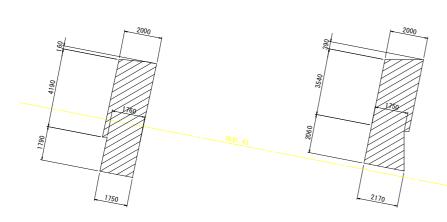
取付工構造図(その2)

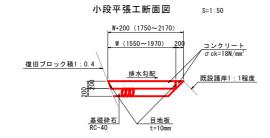


平張ブロック S=1:50

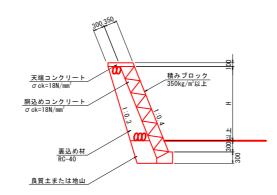


小段平張工平面図 S=1:100





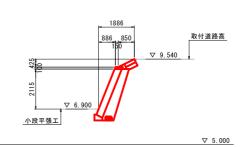
復旧ブロック積構造図 s=1:50



上流側護岸断面図 s=1:100

取付道路高 359 824 150 マ 9.140

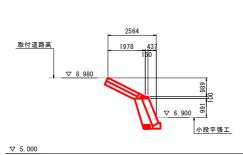


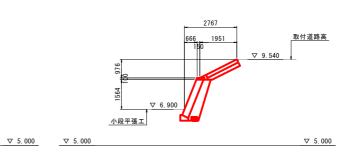


4-4

2-2 (0k91. 43)

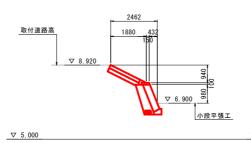
1-1

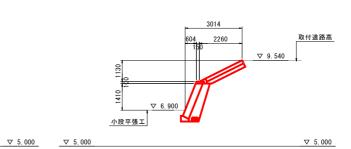




5-5

3-3





6-6

業	務名	加路田橋	水管橋上部工	事									
位	置	鳥	取市徳尾地内										
図	名	名 取付工構造図(その2)											
縮	尺	図示	図面Size	A1									
単	位	m · mm	図 号	23 / 23									
施工年度 令和7・8年度													
東 東市水道周													

加路田橋水管橋上部工事 積算参考資料

给1	旦.	
ൃ∄↓Ⅰ	\vdash	

製品ブラストエ 1m2当たり単価表

第1号 			200		, , <u> </u>		' ''				工水
名	称	規	格	単位	数量	単	価	金	額	雑	工水 摘 要
ブラスト材		グリッド		kg	80						
7 7 1 14											
橋梁塗装工				人	6. 9					1	月単位
简 朱空表工				人	0.9					1	万 年 位
= 4 // - 11 1				0/							
諸雑費				%	10						
合 計				m2	100						
単位当り				m2	1						

第2号

工場外面塗装工 1m2当たり単価表

工水 格 単位数 雑 名 称 JIS K 5551 C種1号2号 赤さび 変性エポキシ樹脂下塗り塗料 1 1層目 52 kg JIS K 5551 C種1号2号 赤さび 変性エポキシ樹脂下塗り塗料 52 1 2層目 kg JIS K 5659 中塗り塗料 淡彩 ポリウレタン樹脂用塗料 kg 18 JIS K 5659 上塗り塗料3級 淡彩 ポリウレタン樹脂用塗料 15 kg 雑品 % 15 月単位 橋梁塗装工 6.3 合 計 m2100 単位当り m2

第3号			伸縮管認	设置工 1組	当たり	単価	表			呼び径400A 工水
名	称	規	格単位	数量	単	価	金	額	雑	摘要
橋りょう世話径	ı. Z			0. 36					9	月単位
橋りょう特殊]	<u> </u>		人	0.72					9	月単位
普通作業員			人	0.36					9	月単位
諸雑費			%	5						
〈賃〉トラックク↓ 縮ジブ型)	ノーン(油圧伸	4.9t吊 オペレータ付	日	0. 36						
合 計			組	1						

第4号			機器等	等据付コ	匚(第7類)	1台当たり	単価表			安全	全設价 量0.0	備、架台類 24t アルミ製
名		規	格	単位	数量	単 価	金	額	雑		<u> </u>	
=n, /++; ±0/0 ± 1												
設備機械	<u> </u>			人	0. 129					月単位		
合 計				台	1							
	1台当り質量(t)	A = 0.024			材質	[補正B = 02	がい製					

名	称	規	格	単位	数量	単	価	金	額	雑	工水 摘 要
新りょう世記	役			人	0.17						月単位
≸りょう特 殊	江.			人	0.5						月単位
 ・ 通作業員				人	0. 17						月単位
					0.11						<u> </u>
計				組	1						

第6号		架	設工(パイ	プビーム	۸)	1日当	たり真	単価表	Ī	友間	SUS304 400A 1.867t 工水
名	称	規格		単位	数	量	単	価	金	額	雑	
橋りょう世話行	n. X		夜間	人	1						9	月単位
橋りょう特殊日	Г		夜間	人	7						9	月単位
普通作業員			夜間	人	1						9	月単位
諸雑費				%	10							
〈賃〉ラフテレー〉 圧伸縮ジブ型)	ノクレーン(油	50t吊 オペレータ付 排1~3,2011,2014		日	1							長期割引適用外
〈賃〉発動発電機(電機)	ディーゼル発 	出力45kVA 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒	立 目	日	1							
架設工具損料				日	1							
合 計				日	1							

第7号			ź	狙立:	工 1日	当た	- り単	価表				SUS304 400A 1.867t 工水
名	称	規	格	単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘要
橋りょう世話役				人	1						9	月単位
橋りょう特殊工				人	6						9	月単位
溶接工				人	1						9	月単位
普通作業員				人	1						9	月単位
諸雑費				%	10							
〈賃〉ラフテレーンク 圧伸縮ジブ型)	/ レーン(油	16t吊 オペレータ付 排1~3,2011,2014		日	1							長期割引適用外
〈賃〉発動発電機(デ電機)	イーゼル発	出力45kVA 排出ガス対策型(第1, 2, 3次基準	推值)低騒音	日	1							
架設工具損料				日	1							
合 計				日	1							

第8号			ステンレス	鋼管電気	溶接(水管橋)	1箇所	当たり	単価表				直流溶接 SUS400A×8.0t 歩掛・必	、14口以下、独立水管橋 隽、 補正 : 工水
名	称	規	格	単位	数量	単	価	金	額	雑		摘	要
ステンレス溶接工				人	1.86					4	月単位		
特殊作業員					3. 73						月単位		
付然作来具				人	3. 13					4	月 毕业		
土木一般世話	设			人	1.86					4	月単位		
諸雑費(材料費及	び器具損料)			%	9								
合 計				箇所	1								

第9号			ステンレス会	鋼管電気料	容接(その他))1箇所	行当たり	単価表				直流溶接 SUS400A×12.7t 歩掛:必携、	、水管橋部外 補正・工水
名	称	規	格	単位	数 量	単	価	金	額	雑		摘要	111111111111111111111111111111111111111
ステンレス溶接工				人	2. 29					4	月単位		
特殊作業員				人	4. 58						月単位		
土木一般世話後	Ļ			人	2. 29						月単位		
諸雑費(材料費及)				%	9					1	万 平 山		
	(公命兵)負付)												
合 計				箇所	1								

第10号			ステンレス	鋼管電気料	容接(その他)	1箇所	当たり	単価表				直流溶接 SUS400A×8.0 歩掛:必携	t、水管橋部外 、補正:工水
名	称	規	格	単位	数量	単	価	金	額	雑		摘 要	Ĺ
ステンレス溶接工				人	1. 24					4	月単位		
特殊作業員				人	2.48					4	月単位		
土木一般世話往	九 文			人	1. 24					4	月単位		
諸雑費(材料費及	び器具損料)			%	9								
合 計				箇所	1								

呼び径 A = 01 1,000mm未満

第11号			X線検	查(2	水管橋)1村	女当た	り単位	価表			呼び径1,000mm未満
名	称	規	格	単位	数量	単	価	金	額	雑	摘要
技師(A)		(内業)		人	0.5					5	月単位
技師(B)		(内業)		人	2					5	月単位
普通作業員				人	1					5	月単位
機械器具費等				%	30						
諸雑費				式	1						
合 計				枚	6						
単位当り				枚	1						

種別B = 01 水管橋部

第12号			X級検査((2)	の他)1村	汝当たり単	.仙表			呼び径1,000mm未満
名	称	規	格単位	立	数量	単 価	金	額	雑	摘 要
技師(A)		(内業)	人		0. 5				5	月単位
支師(B)		(内業)	人		2				5	月単位
普通作業員					1				5	月単位
幾械器具費等			%	,	30					
渚雑費			大	N .	1					
合 計			枚	ζ	5					
単位当り			枚	ζ	1					
	呼び径	A = 01 1,000mm未満				種別B = 03	その他			
									-	

第13号			;	鋼管布設工	(機械力)	1m当た	り単位	価表				溶接管 吊证 400mm トラッ	込み据付 溶接口 ククレーン[油圧式]	数:10口以下 4.9t吊
名	称	規	格	¥ 単位	数量	単	価	金	額	雑		摘	要	
配管工				人	0.18					ل	月単位			
普通作業員	Ļ			人	0. 276						月単位			
〈賃〉トラック 縮ジブ型)	クレーン(油圧伸	4.9t吊 オペ	レータ付	日	0. 348									
合 計				m	10									
単位当り				m	1									
	呼び径 種別	A = 09 400n B = 01 A種 C = 01 少な	nm		作業 溶接口	#補正D = 0 数補正E = 0)1)3 10日	子 1以下						
	埋設物補正	C = 01 少な	:V \											

第14号						党置工 1基							必携	豆工 呼び径50m
名	称		規	格	単位	数量	単	価	金	額	雑		摘	要
erten kala														
记管工					人	0.1					9	月単位		
普通作業員					人	0. 21					9	月単位		
諸雑費					%	1								
合 計					基	1								
	施工方法 種別	A = 02 B = 01	人力施工 空気弁			作	 呼び径C = 業種別D =	02	 50mm 設置					

第15号			伸縮可とう	管診	2置(鋳	鉄製	.) 1基	当たり) 単価表				呼び径4 必携	00mm以下 接	合形式U×S
名	称	規	格	単位	数	量	単	価	金	額	雑		摘	要	
配管工				人	0.3	6					9	月単位			
普通作業員				人	0. 4	.2					9	月単位			
〈賃〉トラック ź 縮ジブ型)	クレーン(油圧伸	4.9t吊 オペレータ付		日	0. 1	8									
諸雑費				%	1										
合 計				基	1										
	呼び径(mm)	A = 07 400mm以下				接合	♪形式B =	06 U	J×S						

コンクリート 1m3当たり単価表

第16号の1

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB コンクリートポンプ車打設

機械構成比: 3.88%	材料構成出	△:79.73% 市	5場単価構成比:0%	標準単価:		ノノートがマノ 平11欧
代表機労材規格(積算地区)	構成比 単	单価 (積算地区)	代表機労材規格	(東京地区)	単価 (東京地区)	備考
コンクリートポンプ車			コンクリートポンプ車			
トラック架装・ブーム式	3. 85%		トラック架装・ブーム	式		
圧送能力90~110m3/h			圧送能力90~110m3/h			
その他(機械)			その他(機械)			
普通作業員			普通作業員			月単位
	8, 53%)1 — I T
	3. 55/0					
土木一般世話役			土木一般世話役			月単位
	2. 91%					
d Level 11 All 12			d to set 17 All C			H)////
特殊作業員	2 7 22/		特殊作業員			月単位
	2. 76%					
特殊運転手			運転手(特殊)			月単位
77.75年47.75	1.75%		(11)///			71 +11
	1					
その他(労務)			その他(労務)			
レディーミクストコンクリート	70.000/		生コンクリート	(O. F.F.)/		
高炉 24-12-25(20)	78.96%		高炉 24-12-25(20) W/	C 55%		
W/C55%以下 軽油			軽油パトロール給油			
小型ローリー(パトロール給油)	0.77%		于工工田/ , I. 户 / / //归 (田			
	0.11/0					
積算単価			積算単価			
 構造物種別 A = 01 無筋・釒	州存至士華之生。北海		 養生工の種類F = 02 -	,你美什		
件互物性別A - UI 無肋・b	水肋件垣物			一		5 To 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

コンクリート 1m3当たり単価表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB コンクリートポンプ車打設 第16号の2 単価(積算地区) 代表機労材規格(東京地区) 代表機労材規格(積算地区) 構成比 備考 単価 (東京地区) コンクリート規格 C = 01 24-12-25 (20) BB 生コンクリート小型車割増 J = 01 − 設計日打設量 E = 01 設計日打設量10m3以上100m3未満 1日未満で完了する作業の適用 K = 01 −(全ての費用)

型枠 1m2当たり単価表

一般型枠 鉄筋·無筋構造物 第17号 機械構成比:0% **労務構成比**:100% 材料構成比:0% 市場単価構成比:0% 標準単価: 代表機労材規格 (積算地区) 単価 (積算地区) 代表機労材規格(東京地区) 構成比 単価 (東京地区) 備考 型わく工 型わく工 月単位 46.66% 普通作業員 普通作業員 月単位 25. 14% 土木一般世話役 土木一般世話役 月単位 9.51% その他(労務) その他(労務) 積算単価 積算単価 1日未満で完了する作業の適用 C = 01 -(全ての費用) 型枠の種類 A = 01 一般型枠 構造物の種類 B = 01 鉄筋・無筋構造物

鉄筋 1t当たり単価表

SD345 D13

第18号		 	3004	5 D15
第18号 機械構成比:0%	材料構成	比:30.38% 市場単価構成比:0% 標準単価:		
代表機労材規格 (積算地区)		単価(積算地区) 代表機労材規格(東京地区)		備考
鉄筋工		鉄筋工		月単位
	39. 58%			
Mora Wolle II		26.27 U. NK E		H 7/7.11
普通作業員	10.70%	普通作業員		月単位
	18. 76%			
土木一般世話役		土木一般世話役		月単位
THE PARTIES	9. 92%	171 /4X E HI IX		/
その他(労務)		その他(労務)		
異形棒鋼		鉄筋コンクリート用棒鋼		
乗形 停 判 SD345 D13	30. 38%	数肋コンクリート用		
3D343 D13	30. 36%	30343 1/13		
積算単価				
鉄筋規格 A = 04 SD345 D1	2	1日未満で完了する作業の適用 B = 01 -(全ての費用	1)	
型人列列列作 N — O4 SDS48 D1		1日本調で元月・3日末・週川 D- 01 (主て・ノ真月		

鉄筋 1t当たり単価表

SD345 D16∼D25

第19号		或大月力 I	はヨたり早価衣	ასა-	13 D10 9D23
機械構成比:0%	材料構成	比:30.38% 市	場単価構成比:0% 標準単価:		
代表機労材規格 (積算地区)		単価 (積算地区)	代表機労材規格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備考
鉄筋工			鉄筋工		月単位
	39. 58%				
並			並		月単位
普通作業員	18. 76%		普通作業員		月里似
	10.70/0				
土木一般世話役			土木一般世話役		月単位
	9. 92%				
7 0 (1) (1)(7/2)			2 0 th (W7th)		
その他(労務)			その他(労務)		
鉄筋コンクリート用棒鋼			 鉄筋コンクリート用棒鋼		
SD345D16~D25	30. 38%		SD345 D13		
積算単価			積算単価		
鉄筋規格 A = 05 SD345 D	16∼D25	1日未満で完了	する作業の適用 B = 01 -(全ての費用)		
	1	l .	I .		l .

平ブロック張 1m2当たり単価表

ブロックの質量150kg/個未満 平ブロック控120mm_170kg/m2以上

第20号		半プロック張 lm2当たり単価表	ックの質重150kg/個未満 ロック控120mm_170kg/m2以上
機械構成比: 3.21%	材料構成	比: 64. 03% 市場単価構成比: 0% 標準単価:	ログノ J王120IIIII_170Kg/III2以上
代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区) 代表機労材規格(東京地区) 単価(東京地区)	備考
〈賃〉バックホウ(クローラ型クレーン付)		バックホウ	
山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力2.9t	3. 21%	[クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t	
普通作業員	15. 23%	普通作業員	月単位
特殊運転手	6. 93%	運転手(特殊)	月単位
土木一般世話役	3. 71%	土木一般世話役	月単位
ブロック工	3. 5%	ブロックエ	月単位
その他(労務)		その他(労務)	
張りブロック 質量170kg/m2以上、厚120mm	60. 62%	平ブロック 厚さ100mm	
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	3. 41%	軽油パトロール給油	
積算単価		積算単価	
ブロックの質量 A = 01 ブロックの			
平ブロック規格 B = 03 平ブロック 裏込材規格 D = 04 砕石不要		/m2以上 吸出し防止材の有無H = 02 吸出し防止材無し 連結金具の有無I = 02 連結金具無し	
			L 1 34 D

砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下

基礎材_情報ボックス 1m2当たり単価表

第21号

RC-40 材料構成比:25.04% 市場単価構成比:0% 標準単価: 単価 (積算地区) 代表機労材規格 (積算地区) 代表機労材規格 (東京地区) 備考 構成比 単価 (東京地区) バックホウ(クローラ型) 〈賃〉後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 「後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3) 4.8% 山積0.45m3(平積0.35m3) 月単位 普通作業員 普通作業員 25.09% 土木一般世話役 土木一般世話役 月単位 15. 27% 特殊運転手 運転手(特殊) 月単位 14. 24% 特殊作業員 特殊作業員 月単位 13.94% その他(労務) その他(労務) 再生クラッシャーラン 再生クラッシャーラン RC - 4020.9% RC-40 軽油パトロール給油 軽油 小型ローリー (パトロール給油) 4.14% 積算単価 **積算単価** 砕石の厚さ A = 04 砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下 砕石の種類B = 01 RC-40

目地板 1m2当たり単価表

1工事当り使用量30m2未満 源表繊維質目地板+=10mm

922 月		日地极	lm2当たり単価表	文	↓ ↓ ≒ 源書	事当り使用重30m2未満 繊維質目地板t=10mm
第22号 機械構成比:0%	材料構成	比:35.6% 市	万場単価構成比:0%	標準単価:	拉E 月	NX小E 貝 口 101/X (-1011III
代表機労材規格 (積算地区)		単価 (積算地区)		· 招(東京地区)	単価 (東京地区)	備考
普通作業員			普通作業員			月単位
	47. 36%					
1. (1 1 An III 34 An			H)////
土木一般世話役	1.6. 7.00/		土木一般世話役			月単位
	16. 72%					
その他(労務)			その他(労務)			
目地板			瀝青繊維質目地板			
瀝青繊維質板	35. 6%		厚さ10mm			
			1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1			
 1工事当り使用量 A = 01 1工事当	n 体田县20(一 、进	日地长の呑粉D- 01	瀝青繊維質目地板t=10mm		
1上争当り使用里 A - 01 1上争当	り使用重30回2	不何	日地似7/1里類D - 01	從 月 桃雅 貝 日 地 伙 t - 10 mm	1	

コンクリート 1m3当たり単価表

第23号の1

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB コンクリートポンプ車打設

機械構成比: 3.88%	比:16.39% 材料構成比:79.73% 市	5場単価構成比:0%	標準単価:	ロマノブ 「 かマブ 辛打飲
代表機労材規格(積算地)	区) 構成比 単価(積算地区)	代表機労材規格	(東京地区)	単価(東京地区) 備 考
コンクリートポンプ車		コンクリートポンプ車		
トラック架装・ブーム式	3. 85%	トラック架装・ブーム	式	
圧送能力90~110m3/h		圧送能力90~110m3/h		
その他(機械)		その他(機械)		
		普通作業員		月単位
	8.53%			
1		I I to III to III		
土木一般世話役	0.01%	土木一般世話役		月単位
	2. 91%			
特殊作業員		特殊作業員		月単位
	2. 76%			
d Lord Net has se		New days are (of to seed)		
特殊運転手	1 750/	運転手(特殊)		月単位
	1. 75%			
その他(労務)		その他(労務)		
1 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0				
		//		
レディーミクストコンクリート	70, 00%	生コンクリート	O FE0/	
高炉 18-8-40 W/C60%以下	78. 96%	高炉 24-12-25(20) W/0	J 55%	
軽油		軽油パトロール給油		
小型ローリー (パトロール給油)	0.77%	7 /18 /18		
積算単価		積算単価		
構造物種別 A = 0	1 無筋・鉄筋構造物	養生工の種類F = 02 -	一般養生	
				り下ナルギロ

コンクリート 1m3当たり単価表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB コンクリートポンプ重打設

第2	3号の2										コン	'クリートホ'	ンフ単打設
機械権	講成比:3.88%	労務構成比	: 16.39%	材料構成	沈比:79	9.73% 市	場単価構成比:0%		標準単価:	Γ		T.	
	代表機労材規格	(積算地区)	構成比	単価	(積算地区)	代表機労材	規格	(東京地区)	単価	(東京地区)	備	考
									送管延長距離延長無し				
	コンクリート表	見格 C = 02	18-8-401	B B		生コンクリー	ート小型車割増 J = ()1 –					
	設計日打記	2 量 E = 01	設計日打設	量10m3以上100	m3未満	1日未満で完了	する作業の適用 K = C)1 -((全ての費用)				
				1			1			1		1	

間知ブロック張 1m2当たり単価表

第24号の1

150kg/個未満控350mm滑面タイプ_10.0個/m2 RC-40 18-8-40BB

- 第24号の1 機械構成比:4.99%	% 材料構成比:59.98%	市場単価構成比:0% 標準単価:	RC-40 18-8-40BB
代表機労材規格 (積算地区)	構成比 単価(積算地区		単価(東京地区) 備 考
〈賃〉バックホウ(クローラ型クレーン付)		バックホウ	
山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力2.9t	4. 99%	[クローラ型クレーン付]	
26.72.11.11k H		排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t	
普通作業員	10.040/	普通作業員	月単位
	13. 24%		
特殊運転手		運転手(特殊)	月単位
	9. 08%		
特殊作業員		特殊作業員	月単位
	6. 31%		
ブロックエ		ブロックエ	月単位
	4. 21%		
その他(労務)		その他(労務)	
コンクリート積ブロック		コンクリート積みブロック-滑面-〈JISA5371〉	
滑面 150kg/個未満 リサイクル製品	31. 34%	250×400×350,参考質量35.0kg以上 10.0個/m2	
レディーミクストコンクリート		生コンクリート	
高炉 18-8-40	23. 2%	高炉 18-8-25(20) W/C 60%	
W/C60%以下			
軽油 () () () () () () () () () (4 440/	軽油パトロール給油	
小型ローリー(パトロール給油)	4. 14%		
再生クラッシャーラン		再生クラッシャーラン	
RC - 40	1. 3%	RC-40	
積算単価		積算単価	

間知ブロック張 1m2当たり単価表

150kg/個未満控350mm滑面タイプ_10.0個/m2 RC-40 18-8-40BB

第24号の2					派 11112 当 1 こ 7 平			RC-4	18-8-40E	BB
機械構成比: 4.99%	労務構成比:35.03%	材料構成	沈比:59	0.98% 市	場単価構成比:0%					
代表機労材規格				(積算地区)	代表機労材規格		単価	(東京地区)	備	考
間知ブロック規	見格 A = 01 150kg/個未満控	 350mm滑面タイプ	10.0個/m	2	水シート規格 I = 03	遮水シート不要				
裏込材規	RR C = 01 RC-40			生コンクリー	ト小型車割増 K = 01	-				
胴込・裏込コンクリート規	格 F = 02 18-8-40F	l RB			1 7 - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					
	1 02 10 0 101									

RC-40

裏込砕石 1m3当たり単価表

第25号の1

第25号の1 機械構成比:4.22%	構成比:26.55% 市	ī場単価構成比:0%	標準単価:		
代表機労材規格(積算地区) 構成比	単価 (積算地区)	代表機労材規格	(東京地区)	単価 (東京地区)	備考
〈賃〉バックホウ(クローラ型)		バックホウ			
	2%	クローラ型			
排1~3, 2011, 2014		山積0.8m3(平積0.6m3)			
その他(機械)		その他(機械)			
普通作業員 33.7	2%	普通作業員			月単位
特殊作業員 14.7	8%	特殊作業員			月単位
特殊運転手 11.6	1%	運転手(特殊)			月単位
土木一般世話役 8.7	1%	土木一般世話役			月単位
その他(労務)		その他(労務)			
再生クラッシャーラン RC-40 21.9	9%	再生クラッシャーラン RC-40			
軽油 小型ローリー (パトロール給油) 4.5	4%	軽油パトロール給油			
その他(材料)		その他(材料)			
積算単価		積算単価			

裏込砕石 1m3当たり単価表

RC-40

第25号の2			1m3当たり単価表	RC-4	.0
第25号の2 機械構成比:4.22% 労務構成比:69.23%	材料構成	比: 26.55% 市	場単価構成比:0% 標準単価:		
代表機労材規格 (積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価 (東京地区)	備考
The activity of the second					
砕石の種類 A = 01 RC-40		1日未満で完了	する作業の適用 C = 01 -(全ての費用)		

		→ 1			
第26号	現場	易打天端コンク	リート 1m3当たり単価表		8-40BB ≿養生
第20万 機械構成比:2.43%	材料構成	沈比:33.58% 市	場単価構成比:0%標準単価:	— //\forall \	(食生
代表機労材規格(積算地区)		単価 (積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価 (東京地区)	備考
〈賃〉バックホウ(クローラ型クレーン付)			バックホウ		
山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力2.9t	2. 43%		[クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		
型わく工	21. 93%		型わく工		月単位
普通作業員	15. 12%		普通作業員		月単位
土木一般世話役	10. 73%		土木一般世話役		月単位
特殊作業員	7.3%		特殊作業員		月単位
その他(労務)			その他(労務)		
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	32. 1%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	1. 48%		軽油パトロール給油		
積算単価			積算単価		
生コンクリート規格 A = 02 18-8-40		生コンクリ	ート小型車割増 D = 01 -		
養生工の種類 C = 01 一般養生					

第27号	歩国	車道境界ブロッ	ノク撤去 1m当たり	単価表	再利	用
機械構成比: 3.96%	材料構成	沈比:1.46% 市	場単価構成比:0%			
代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価 (積算地区)	代表機労材規格	(東京地区)	単価 (東京地区)	備考
〈賃〉超小旋回バックホウ(クローラ型)			小型バックホウ			
山積0.22m3(平積0.16m3)	3.96%		[クローラ型・超小旋回	可型]		
			山積0.22m3			
普通作業員	30. 07%		普通作業員			月単位
上 土木一般世話役			土木一般世話役			月 単位
上小 双臣的仅	18. 33%		上/下 // // // // // // // // // // // // /			万 毕他
特殊運転手			運転手(特殊)			月単位
	17. 09%					
特殊作業員			特殊作業員			月単位
	16. 73%					
その他(労務)			その他(労務)			
軽油	1 4 00/		軽油パトロール給油			
小型ローリー (パトロール給油)	1. 46%					
積算単価			積算単価			
再利用区分 A = 02 再利用						

第28号			交通整	理員(交)	通誘導員	∄ A)	1人・	当当た	り単価表	Ę.			昼間勤	務
名	称	規	格	単位	数	量	単	価	金	額	雑		摘	要
交通誘導警備	損A			人	1							月単位		
計				人・日	1									
	作業区分	A = 01 昼間勤務					区分B	= 01	交通誘導員	ĮΑ				

第29号			交通整理	員(交:	通誘導	[負A)	1人•	日当た	り単価表			夜間勤務	
名	称	規	格	単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘要	
交通誘導警備	情員A			人		1						月単位	
計				人・日		1							
	作業区分	A = 02 夜間勤務					区分B	= 01	交通誘導 員	₹A			

第30号			交通整	至理員(交ù	通誘導員	∄ B)	1人・	日当た	り単価表	Ž			昼間勤	務
名	称	規	格	単位	数	量	単	価	金	額	雑		摘	要
交通誘導警備	損B			人	1							月単位		
計				人・日	1									
	作業区分	A = 01 昼間勤務					区分B	= 02	交通誘導員	員B				

等31号			交通整理	只(人)	远 175 寸	·只口/	1/\ H	⊐ /C	ケード			夜間勤	, , , ,
名	称	規	格	単位	数	量	単	価	金	額	隹	摘	要
を通誘導警備	員B			人		1					月単位		
計				人・目		1							
	作業区分	A = 02 夜間勤務					区分B =	02	交通誘導員 F	3			

第32号			外面塗	\$装(ジ:	ョイントコート) 1	箇所当たり	単価表		熱収縮系タイプ 400A 必携
名	称	規	格	単位	数量	単 価	金額	雑	摘要
塗装工				人	0. 11				月単位
シ゛ョイント		熱収縮チューブ		個	1			3	
諸雑費(消耗品	及び工具損料)			%	6				
合 計				箇所	1				

	材料			単価
名称	規格	単 位	備考	中心
鋼管	SUS304 $-$ 114.3 $\phi \times$ 4t	kg		1,111
"	SUS304 $-406.4 \phi \times 12.7 t$	kg		2,951
"	SUS304-406.4 ϕ × 8t	kg		2,686
鋼 板	SUS304 — 22t	kg		1,050
"	SUS304 — 6t	kg		841
"	SUS304 — 12t	kg		1,042
"	SUS304 — 16t	kg		1,050
II .	SUS304 — 19t	kg		1,050
鋼製フランジ	SUS304-100A(F12)	枚		6,560
アンカーボルト	D25(M-24) × 400L	本		19,900
絶縁支承材	テフロン系	枚		25,600
落橋防止装置	180kN ケーブル	組		813,900
アンカーボルト	D19(M16) × 260L N1·N3·PW (SUS304-SD345)	本		12,700
CR 緩衝材	t50 × 100 × 400	枚		131,900
取付ボルト	M10 × 65L N1·2PW(SUS304)	組		749
伸縮管	400A×650L ベローズ	基		2,427,000
不凍急排空気弁	φ 50	基		267,000
SUS 歩行防止柵(全開)	400A	組		296,900
SUS 両B 曲管	400A × 500L × 45° × 500L	本		1,207,100
SUS 両B 曲管	400A×700L×57.2°×1000Lスティフナー付	本		2,227,800
SUS 両B 曲管	400A×1750L×67.8°×800Lスティフナー付	本		1,960,800
SUS 両B 曲管	400A × 436L × 30° × 1242L	本		1,866,300
絶縁可とう管	φ 400 GX形 H=300 U×S タイロット・付	基		4,731,000
特注グレーチング	2100×1750×150 2枚割 嵩上げ	組		698,000
架設工具損料		日		5,217
組立用架台工		式		157,490
機械式鉄筋定着工	D13 O <l≦1m< td=""><td>箇所</td><td>参考:head-bar工法</td><td>物価資料(※1)</td></l≦1m<>	箇所	参考:head-bar工法	物価資料(※1)
ブラスト材	グリッド	kg		"
変性エポキシ樹脂下塗り塗料	JISK5551 C種1号2号 赤さび	kg		"
ポリウレタン樹脂用塗料	JISK5659 中塗り塗料 淡彩	kg		"
ıı .	JISK5659 上塗り塗料3級 淡彩	kg		"

注)物価資料(※1):建設物価10月号と積算資料10月号の平均

物価資料(※2):建設物価10月号 物価資料(※3):積算資料10月号 建=建設物価 積=積算資料

 —			材 料	
- 単畑	備考	[単 位]	[規 格]	[名 称]
物価資料(※3) 積:大		m2	質量170kg/m2以上、厚120mm	張りブロック
8,92		m2	滑面、150kg/個未満	コンクリート積ブロック
42,60		٨		ステンレス溶接工

注)物価資料(※1):建設物価10月号と積算資料10月号の平均

物価資料(※2):建設物価10月号 物価資料(※3):積算資料10月号 建=建設物価 積=積算資料